

フィリピン貿易研修センター事業 巡回指導調査団報告書

平成元年(1989年)4月

国際協力事業団

2000

JICA LIBRARY

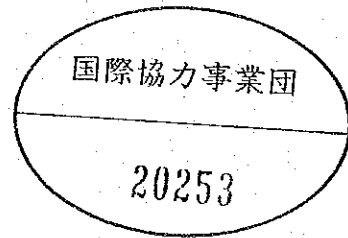


1078430141

フィリピン貿易研修センター事業
巡回指導調査団報告書

平成元年(1989年)4月

国際協力事業団



序 文

本プロジェクトは、比国政府の輸出促進に寄与すべく人材養成を目的とした「貿易研修センター」構想を受け、昭和62年2月23日から協力期間5年間として開始されたものである。

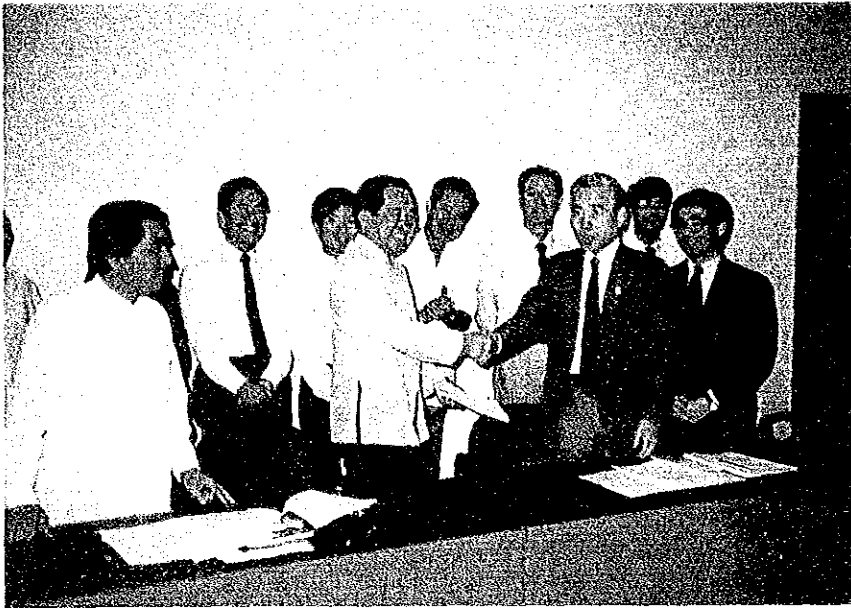
無償資金協力によるセンターの建物は、昭和63年3月に完成し、5月23日アキノ大統領を迎えて盛大に開所式を行ない、本格的にセンター活動が開始された。

本報告書は、現地における諸問題の検討と平成元年度の年次計画を策定するために派遣された巡回指導調査団の調査結果をとりまとめたものである。

ここに本調査団派遣に関し、御協力いただいた関係各位に深甚なる謝意を表するとともに、今後とも本件技術協力の成功のために一層の御協力をお願いする次第である。

平成元年4月

国際協力事業団
鉦工業開発協力部
部長 山崎 宗重



ミニッツ署名・交換



合同委員会

目 次

I. 巡回指導調査団派遣	1
1. 派遣目的	1
2. 調査団の構成	1
3. 調査日程	1
4. 主な面談者	2
(1) フィリピン側関係者	2
(2) 日本側関係者	3
5. 主要調査項目	4
II. 調査結果	11
1. プロジェクト実施体制整備状況	11
(1) センター施設利用状況	11
(2) センターの人員配置	11
(3) センター予算措置状況	15
(4) 関係機関との協定	16
2. 1988年度活動実績	16
3. 1989年度活動計画	16
4. 貿易研修	17
(1) 1988年度活動状況	17
(2) 1989年度年次計画	20
5. 展 示	21
(1) 1988年度活動状況	21
(2) 1989年度年次計画	22
6. 輸出検査(家具)	29
(1) 1988年度活動状況	29
(2) 1989年度年次計画	32
(3) 実施上の問題点	34
7. 輸出検査(繊維)	45
(1) 1988年度活動状況	45
(2) 1989年度年次計画	47
(3) 実施上の問題点	49

8. 輸出検査（食品）	79
(1) 1988年度活動状況	79
(2) 1989年度活動計画	79
(3) 実施上の問題点	80
9. 商業日本語	80
(1) 1988年度活動状況	80
(2) 実施上の問題点	81
Ⅲ. 調査団所感・その他	82
1. F D Cの協力確認	82
2. 人員配置	82
3. 地方研修の実施（中堅技術者養成対策費）	82
4. A V機器の利用状況	82
附属資料	
1. 「ミニッツ」	83
2. 「全体会議討議事項」	93
3. 「個別協議議事録」	113
(1) 貿易研修	115
(2) 展 示	118
(3) 輸出検査（工業産品）	123
(4) 輸出検査（農水産品）	125
(5) 商業日本語	128
4. 「合同委員会議事録」	133
5. 「P T T C 1988 ACCOMPLISHMENT REPORT AND 1989 PLANS」	143
6. 「P T T Cと関係機関との協定書」	169

I. 巡回指導調査団派遣

1. 派遣目的

本件協力事業は昭和62年2月23日より5年間にわたり、フィリピン共和国において「貿易実務」「輸出検査」及び輸出製品の「展示」分野の人的資源を養成し、同国の輸出促進に資することを目的として実施されている。

現在、上記協力内容に係る技術移転を行うため、チーム・リーダーを含めて9名の専門家を派遣中である。

今回の調査団派遣目的は、無償資金協力による建屋の開所式が昭和63年5月に行われ、本格的にセンター活動が開始されたことを踏まえ、今後本プロジェクトに対する我が方の技術協力をより効果的に実施するため、現地における諸問題を検討し、プロジェクトの運営管理について比側関係者及び派遣専門家と協議の上、年次計画（64年度）の作成を行うことである。

2. 調査団の構成

分 担	氏 名	所 属
団長 総 括	長 沢 幸 敏	国際協力事業団 鉾工業開発技術課
団員 貿易研修・展示	西 部 健 二	通商産業省 通商政策局技術協力課
団員 輸出検査(工業産品)	塚 越 郁 生	通商産業省 通商産業検査所 総務部総務課
団員 輸出検査(農水産品)	穴 井 達 也	農林水産省 食品流通局 消費経済課
団員 業務調整	千 葉 滋 輔	国際協力事業団 鉾工業開発技術課

3. 調査日程

日 順	月 日	曜 日	午前・午後	業 務 内 容
1	12/8	木	午前 午後	東京 → マニラ (往路) JICA事務所・大使館表敬
2	9	金	午前 午後	NEDA、貿易工業省表敬 FDC、PTTC表敬、専門家と打合せ
3	10	土	午前	専門家と打合せ
4	11	日		団内打合せ、資料整理

日 順	月 日	曜 日	午前・午後	業 務 内 容
5	12	月	午前 午後	全体協議 個別協議 西 部 …………… 貿易研修・展示 塚 越 …………… 輸出検査 (工業産品) 穴 井 …………… “ (農水産品) 千 葉 …………… 商業日本語
6	13	火	午前 午後	個別協議 合同委員会開催
7	14	水	午前 午後	全体協議 ミニッツ (案) 検討
8	15	木	午前 午後	ミニッツ署名、3 団員帰国 専門家と協議
9	16	金		J I C A 事務所、大使館報告
10	17	土		マニラ → 東京 (帰国)

4. 主な面談者

(1) フィリピン側関係者

1) 貿易工業省

Ceterino L. Follosco

Undersecretary, Regional and Domestic Group

2) 貿易研修センター

① Antonio J. Tria Tirona

Executive Director

② Ma. Angelina V. Angeles

Deputy Executive Director

③ Isabel E. Melgar

Chief, Plans and Program Division

④ Ma. Teresa B. Corpus

Chief, Finance and Administrative Services Division

⑤ Ma. Teresa Coligado

Chief, Faculty Division

⑥ Adelaida L. Inton

⑥ Adelaida L. Inton

Chief, Bus. Mgt. Division

⑦ Ramon Catarata

Sr. Trade and Industry Development Specialist Testing and Inspection Division

⑧ Dennis Cruz

Acting Chief, Trade Exhibition Division

⑨ Benji Bohn Patajo

Chief, Publications and Information Division

3) その他

Alicia O. Lustre

Director, Food Development Center

(2) 日本側関係者

1) 日本大使館

井上 淳 一等書記官

林田直樹 "

2) JICA事務所

宮本守也 所長

丹羽憲昭 所員

3) JICA専門家

松本玉一 リーダー

海老名捷彦 調整員

井尻民雄 貿易研修

奥村善治 "

川喜多宏 "

竹内阪蔵 輸出検査(家具)

水野尚清 " (繊維)

秋野洋一 " (食品)

関谷ナナ 商業日本語

5. 主要調査項目

巡回指導調査団主要調査項目

項 目	現 状 及 び 経 緯	調 査 項 目														
<p>1. 63年度年次計画の 進捗状況の把握</p> <p>1-1. (日本側)</p> <p>a) 専門家派遣</p>	<p><長期>派遣中 9名</p> <table border="0"> <tr> <td>チーム・リーダー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>貿易実務</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>輸出検査(家具)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>輸出検査(繊維)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>輸出検査(農水産品)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>商業日本語</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>調整員</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>・貿易実務については教材作成等業務が多忙なため計画に対し、1名追加した。</p> <p><短期>63年度(10月末迄)派遣実績なし</p> <p>・現在、食品及び繊維輸出検査専門家(各1名)の派遣要請がきている。</p>	チーム・リーダー	1名	貿易実務	3名	輸出検査(家具)	1名	輸出検査(繊維)	1名	輸出検査(農水産品)	1名	商業日本語	1名	調整員	1名	<p>1)元年度に派遣期間終了となる専門家(輸出検査(食品1名・商業日本語1名は除く)について延長・交替の可能性</p> <p>1)左記派遣要請の具体的なT/R、期間・時期の確認</p> <p>2)元年度要請分野・内容・人数・期間・時期</p>
チーム・リーダー	1名															
貿易実務	3名															
輸出検査(家具)	1名															
輸出検査(繊維)	1名															
輸出検査(農水産品)	1名															
商業日本語	1名															
調整員	1名															
<p>b) 研修員受入れ</p>	<p>62年度：5名(63年3月～6月)</p> <p>63年度：5名(64年1月より順次受入れ予定)</p> <p>元年度：5名(いずれも早期通報分)</p> <p>*既に9名の研修員要望書がきている。</p>	<p>1)元年度研修員の選定</p> <p>2)A₂、A₃フォームの作成・提出</p>														
<p>c) 機材供与</p>	<p>既供与機材・携行機材：別添 供与・携行機材実績</p> <p>63年度供与機材：現在、調整中</p>	<p>1)既供与携行機材の使用状況</p> <p>2)元年度供与機材の選定</p>														

項 目	現 状 及 び 経 緯	調 査 項 目
1-2. (フィリピン側) a) センター 施設利用状況 b) センター 組織状況 c) センター 予算措置状況 d) 関係機関 との協定	無償資金協力による施設は予定通りに完成し 昭和63年5月23日アキノ大統領を迎えて開所 式を行った。 <施設貸出実績> 11回 (63/4～10末) 別添 フィリピン側組織図参照 別添 参照 輸出検査 (食品) - 食品開発センター (FDC) 締結済 輸出検査 (繊維) - 比繊維研究所 (PTRI) 締結済 輸出検査 (家具) - 家内工業技術センター (CITC) 未定 展 示 - 国際貿易展示センター (CITEM) 未定	1) センター施設利用実 績及び今後の利用計 画 2) 機材の保守管理 (現 地民間会社との契約 状況) 1) 各課の所掌業務・機 能・人員 1) 左記確認する 2) 元年度予算措置 1) 左記現状を確認し、 早期締を依頼する。
2. 協力分野別 活動状況 a) 貿易研修	<セミナー開催実績> ・ 輸出基礎コース 19回 ・ 商品コストと価格 4回 ・ 輸出マーケティング 5回 ・ 生産管理 2回	1) R/Dの暫定実施計 画及び技術移転項目 との整合性 2) 元年度Annual Work Planの作成

項 目	現 状 及 び 経 緯	調 査 項 目
	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易金融 3回 ・商業通信 1回 ・交渉の進め方 2回 ・市場進出の進め方 1回 ・日本市場攻略セミナー 1回 ・GSP 1回 ・その他日本市場セミナー 1回 <li style="text-align: center;">計 41回 	3)中堅技術者養成事業 の検討
b) 輸出検査 (繊維)	<p style="text-align: center;"><セミナー開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維、糸の基礎知識 1回 ・織物の基礎知識 1回 ・糸と生地 of 物理試験と品質管理 2回 ・衣料品のための生地試験、検査 1回 ・生地の試験方法及び基準(上級) 1回 ・化学分析及び生地の外観検査 1回 ・繊維及び衣料品の試験検査 1回 <li style="text-align: center;">計 8回 	
c) 輸出検査 (家具)	<p style="text-align: center;"><セミナー開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Furniture Inspection & Testing 4回 	
d) 輸出検査 (農水産品)	<p style="text-align: center;"><セミナー開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Quality Inspection & Testing 4回 	
e) 商業日本語	<p style="text-align: center;"><セミナー開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・速成商業日本語 2回 ・日本語レッスン(PTTC職員向け) 1回 ・商業日本語 1回 <li style="text-align: center;">計 4回 	

項 目	現 状 及 び 経 緯	調 査 項 目
f) 展 示	<p><セミナー開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・How to participate in Trade Fairs and maximize its 2回 ・Technical & Creative Aspects of Exhibitions 1回 <p style="text-align: center;">計 3回</p>	
3. 元年度年次計画 の策定		
4. 実施運営上 の問題点	<p>1) P T T C の人員配置 (101名)</p> <ul style="list-style-type: none"> -62年度 70名 -63年度 (10月末) 75名 <p>2)現状、P T T C の待遇及び給与水準は民間と比較すると約半分であるため、カウンターパートはある程度まで技術やノウハウを習得すると、他へ転職する可能性が十分ある。</p> <p>3)無償資金協力による F D C の建物が来月 3 月完成予定</p>	<p>1)当初計画通りの人員配置を依頼する。</p> <p>2)カウンターパートの定着や移転する技術の蓄積方法について検討する。</p> <p>3) F D C の本プロジェクトに対する協力体制の再確認</p>

研修員受入実績表

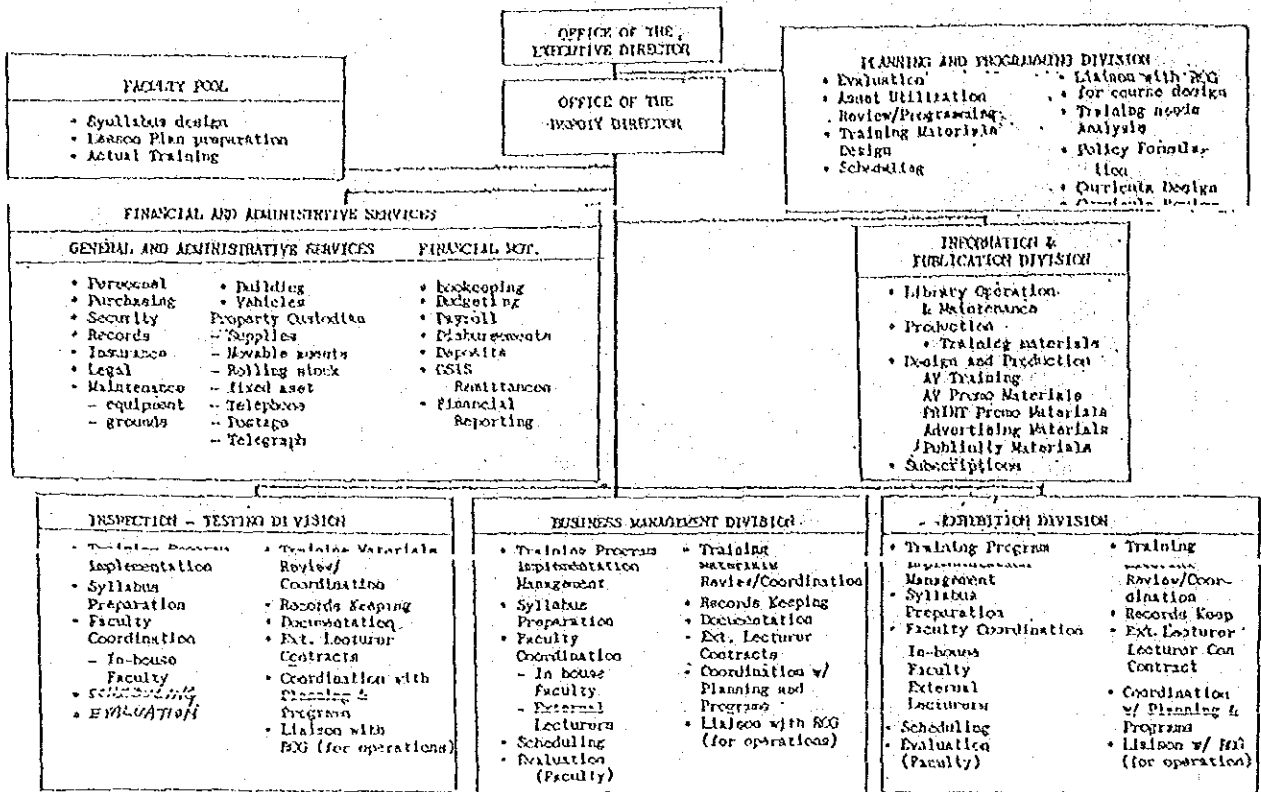
	研修分野	氏名	所属	待遇	研修内容	研修期間	主な研修受入れ先
62 年 度	展示	R. BERCASIO	PTTC	一般	AV機器・ 操作、メン テナンス	'88.3.22 ～'88.4.11	ソニー
	食品検査	H. MAGLALANG	FDC	一般	食品検査	'88.3.28 ～'88.6.20	東京農林規格検査 所、横浜検疫事務 所、紀國屋スーパー他
	貿易研修	A. ANGELES	PTTC	準高	貿易研修 管理	'88.3.30 ～'88.4.19	通産省、農水省、 JETRO、民間 企業他
	貿易研修	I. MELGAR	PTTC	一般	輸出業務 研修	'88.3.30 ～'88.5.29	(財)貿易研修センタ ー、JETRO、 家具工場他
	貿易研修	T. COLIGADO	PTTC	一般	輸出入業務	'88.3.30 ～'88.6.10	(財)貿易研修センタ ー、JETRO、 商社・銀行他

供与・携行機材実績

昭和63年11月末現在
(価格-100千円以上)

61年度		62年度		63年度	
品目	数量	品目	数量	品目	数量
車両(ステーションワゴン)	1台	複写機(現地調達)	1セット	編集機能付ワープロ(現地調達)	1セット
スクリーンプロジェクター	1セット	マイコン(現地調達)	1セット	(1,832千円)	
スクリーン	2セット	会議用コンファレンスシステム	70セット	現在、機材調整中	
カセットレコーダー	2セット	マネキングテスター	1セット		
アセンブリ板	2セット	分光測色計	1セット		
白計算機	4セット	スタントマシン	1セット		
トランプ	2セット	ライボックス	3セット		
ワープロ	2セット	エシエン	180個		
		(供与額 25,575千円)			
		ワープロライター	3セット	任 詰・冷凍食品	36種類
		カメラ	1台	書籍	1,772個
		トランプペンメーカー	2台	事務用品	
		OHPI	1台		
		インスターライド製作機	12台		
		カラースライド	1台		
		卓上バキュームシラー	30台		
		手持屈折型糖度計	1台		
		ダブレットプリンター	1台		
		カセット用工具セット	1台		
		測定器	1台		
		書籍			
		ビデオテープ			
		事務用品			
		(総額 8,093千円)		(総額 1,056千円)	
供与機材		携行機材			

PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER



1988年度センター予算

(千ペソ、千円)

	金額	
	ペソ	円
1. 人件費	4,709	28,254
2. 運営費	10,993	65,958
3. 備品費	1,888	11,328
合計	17,590	105,540

<換算レート> 1ペソ = 6円

II. 調査結果

1. プロジェクト実施体制の整備状況

(1) センター施設利用状況

無償資金協力によるセンター施設の建屋は予定通り完成し、昭和63年5月23日アキノ大統領をはじめ、日本側から浦野通商産業省政務次官、田中在比日本大使を迎えて盛大に開所式を行った。センターの施設状況についてはセミナールーム、各検査室ともよく整備されており、十分利用されていた。また、展示ホールについても内部研修の利用の他に、外部への貸出などをして活発に使用されていた。

なお、図書室には一部日本から持込んだ書籍はあったものの、ほとんどない状態に等しかった。

(2) センターの人員配置

11月末現在のセンター人員は75名で、フィリピン側の当初計画101名に対し、26名不足の状態であった。不足の原因について、フィリピン側より、予算上の制約で有能な人材がリクルートできないため、今後は職格の修正と予算の増大を図り、適正な人材を確保したい旨の説明があった。

なお、各課の人員配置計画及び実績については、下表のとおり。(所掌業務、職員名は別添参照)

課 名	計 画	実 績
1. Office of the Executive Director	4 名	4 名
2. Financial & Administrative Services Division	32	27
3. Planning & Programming Division	11	6
4. Publication & Information Division	23	11
5. Inspection & Testing Division	6	6
6. Business Management Division	7	6
7. Trade Exhibition Division	4	3
8. Faculty Division	14	12
合 計	101	75

職員配置表

POSITION/DESIGNATION	NAME OF INCUMBENT
Office of the Executive Director (4名)	
EXECUTIVE DIRECTOR	ANTONIOJ. TRIA TIRONA.
DEPUTY EXECUTIVE DIRECTOR	MA. ANGLINA V. ANGELES
SECRETARY	LESLIE. COMZALEZ
SENIOR CLERK	ALICIA ECASPI
Financial & Administrative Services Division (27名)	
TRADE & INDUSTRY DIVISION CHIEF	MA. TERESA. B. CORPUS
TRADE & INDUSTRY ASST. DIVISION CHIEF	MARITESB. NATIVIDAD
PERSONNEL OFFICER II	LYDIA F MARTINEZ
CHIEF ACCOUNTANT II	
SUPPLY OFFICER I	R. EARLCONTRERAS
DISBURSING OFFICER	EDTTLA E LEON
BOOKKEEPER I	LOURDESGADIANA
CANTER I	ILLUMINDA N. GRANADA
BUILDING & GROUNDS SUPERVISOR	ARSENIGRODRIGUEZ, JR.
SR PERSONNEL AIDE	PRISCILA A. MARCELANG
CLERK II	ENRICO AMIZO
CLERK II	SYLVIA ENALES
CLERK II	MARISEL LIGERALDE
SENIOR CLERK	ROWENA OXAS
SD REKEEPER II	ANGELO TORAC
SR MECHANICAL ENGINEER	
ELECTRICAL ENGINEER	
AUTOMOTIVE MECHANIC II	GODOFREO OLICIA
GROUNDSMAN GARDENER	REYMUND CRISTOBAL
GROUNDSMAN GARDENER	STIGPRED ENDAYA
DRIVER	ANDRES RROYO
DRIVER	FLORENTNO MERCED
DRIVER	ANTONIC CALDEA
UTILITYMAN	RAFAEL ANOSA
UTILITYMAN	MARCELTO DE LUNA

POSITION/DESIGNATION	NAME OF INCUMBENT
UTILITYMAN	RODOLFO PARRENAS
UTILITYMAN	EDWIN GULLAN
UTILITYMAN	FERNANDO FERMIN
UTILITYMAN	RAMIRCO ABLIR
BUDGET OFFICER III	WARREN PERY
Planning and Programming Division (6名)	
CHIEF TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	MA. ISABEL MELGAR
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	VICENTE UY
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	JOHN PAUL INIGO
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	RONALDO LIMBACO
CLERK II	LIDA GALVEZ
CLERK II	FILOMENA OGENA
Publication & Information Division (11名)	
TRADE & INDUSTRY DIVISION CHIEF	BENJIE BOHN PATAJO
MEDIA SPECIALIST II	FROILAN MIRANDA
MEDIA SPECIALIST I	
CREATIVE ARTS SPECIALIST	ZALDY YALLIDO
SENIOR ARTIST ILLUSTRATOR	
SENIOR ARTIST ILLUSTRATOR	
FEATURE WRITER	RAQUEL MAURICIO
FEATURE WRITER	
INFORMATION EDITOR II	
TRADE & INDUSTRY DEV. ANALYST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT RESEARCHER	
PRODUCTION ASSISTANT II	BEN HUR CALEJA
PRODUCTION ASSISTANT II	MARI TIMI CASTIL
PRODUCTION ASSISTANT II	
AUDIO VISUAL EQUIPMENT OPERATOR	NOEL ANDRES

POSITION/DESIGNATION	NAME OF INCUMBENT
SUPERVISING PHOTOGRAPHER	
AUDIO VISUAL TECHNICIAN I	LUISITO MANAPAT
AUDIO VISUAL TECHNICIAN II	ROMEO BERGASIO
SR. AUDIO VISUAL TECHNICIAN	
SR. AUDIO VISUAL TECHNICIAN	
ELECTRONIC ENGINEER	FLORITA MUKOZ
CLERK II	GIL TALAVERA
CLERK II	
Inspection & Testing Division (6名)	
CHIEF TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	ALICE CALVAN
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	RAMON CATARATA
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	GERTRUDE MALICDI
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	MALYNDA MANCOSTI
CLERK II	GINALYN SALCEDO
CLERK II	GREGORIO MARBELA
Business Management Division (6名)	
CHIEF TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	ADELAIDA INTON
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	BEATRIZ DE JESUR
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	TERESITA ZOLETA
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	MARITA GUYAB
CLERK II	NORMA PAGYO
CLERK II	ROBINA RNES
Trade Exhibition Division (3名)	
CHIEF TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	DENNIS CNZ
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT ANALYST	AUREA MANEL
CLERK II	AGNES DAVID
Faculty Division Contractual (12名)	
CHIEF FACULTY COORDINATOR	
ASST. CHIEF FACULTY COORDINATOR	MARIA TERSA COLIGADO
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	DAVID INDENCIO

POSITION/DESIGNATION	NAME OF INCUMBENT
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	LEONARDO KOSETE
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	EDITA GAFJIGADA
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	ROMMEL AGSTIN
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	BONIFACIO BELEN
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	MA. LUZ IZADA
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	FRANCISCO PERFECTO
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	FELIZBERT BOMBASE
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
SR. TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	BELINDA ALANO
TRADE & INDUSTRY DEVELOPMENT SPECIALIST	FLORDELIA BALITE
CLERK II	ANDREW MALOLOS
計 75 名	

(3) センター予算措置状況

フィリピン側の本プロジェクトに対する1988年度予算及び支出額は下表のとおり。

1988年度予算及び支出額

(千ペソ)

	予 算 (A)	支 出 額 (B)	A - B
1. 人 件 費	4,709	3,552	1,157
2. 運 営 費	10,993	10,554	439
(1) 光熱水道料	800	653	147
(2) 清掃・警備	840	840	0
(3) 維持費	1,320	1,320	0
(4) 研修経費	3,743	3,743	0
(5) その他	4,290	3,998	292
3. 備 品 費	1,888	1,866	22
合 計	17,590	15,972	1,618

(参考) 1ペソ = 6円

1989年度予算については現在、国会で審議中ではあったが、全体で前年予算比20.4%増(増加額 3,586千ペソ)の21,176千ペソを要求しているとの説明があった。予算内訳は下表のとおり。

1989年度予算

(前年予算比、千ペソ)

	金 額	増 減
1. 人 件 費	7,172	2,463
2. 運 営 費	13,498	2,505
3. 備 品 費	506	△ 1,382
合 計	21,176	3,586

(4) 関連機関との協定

PTTCと関係機関との協定については、既にFDC、PTRI、CITC及びFPRDIに関しては締結済であった。(別添附属資料6参照)

ただし、CITEMについては、今なお未締結であったため、本調査団長沢岡長より、チローナPTTC所長に対し早急に締結するよう申し入れるとともに、合同委員会の席上、CITEM代表者に対しても同様に申し入れした。

輸出検査(食品) - FDC (FOOD DEVELOPMENT CENTER)

輸出検査(繊維) - PTRI (PHILIPPINE TEXTILE RESEARCH INSTITUTION)

輸出検査(家具) - CITC (COTTAGE INDUSTRY TECHNOLOGY CENTER)

FPRDI (FOREST PRODUCTS RESEARCH AND DEVELOPMENT INSTITUTE)

展 示 - CITEM (CENTER FOR INTERNATIONAL TRADE EXPOSITIONS & MISSIONS)

2. 1988年度活動実績

1988年度のセンター活動実績について、比側より次のとおり説明があった。

今年度は、昨年6月に実施した研修ニーズ調査結果に基づき、全体で36コースを開発した。内訳は、貿易研修が23コース、輸出検査が11コース、展示が2コース。

セミナーの開催実績については、本年11月末現在で、71回実施されており、参加者は輸出企業及び輸出予定企業の民間人と政府職員で合計 2,586人に達した。なお、12月には6回のセミナー開催が予定されており、年度合計で77回となる。(実績の内訳については、附属資料5の ANNEX B参照)

3. 1989年度活動計画

1989年度の本センターの活動計画については、貿易工業省の* 国際貿易グループ (International Trade Group) の輸出振興3ヶ年計画 (1989~1991年) に沿って構成されており、輸出市場として30ヶ国を掲げている。これにより、研修コースについても、ITGの計画を積極的にサポートするため、本年実績を大幅に上回る122回を開催する予定になっている。

なお、研修プログラムは、次の5つを柱としている。

※ 国際貿易グループの組織図については、「全体会議討議事項」（付属資料2）を参照のこと。

① 特定市場／商品

先に掲げた30ヶ国の市場をターゲットとして、特定市場／商品のセミナーをできるだけ多く開催する。（ただし、センターの予算上の制約があるため、市場については優先順位をつける）

② 輸出基礎コース

輸出基礎コースについては、地方の製造業者に対し、輸出を奨励するため、マニラ以外の地区を対象に大々的に実施する。

③ 再輸出コース

マニラ地区においては、ITGの要請に基づき、より貿易業者のニーズに照準を合わせたセミナーを開催する。具体的には、原材料を輸入し、付加価値を付けて輸出するためのセミナーを新たに設ける。

④ 特定製品の輸出検査

試験検査コースについては、輸出産品をしぼって実施する。例えば、食品においては従来の水産物一般というのではなく、具体的にえび、まぐら、いかと言う具合に特定する。また、基礎コースにおいては、輸出企業に対し、品質管理の重要性をさらに認識させ、上級コースにおいては、コース履修者が自社内で商品検査が可能となるようなカリキュラムの開発を行なう。

⑤ 特定商品の展示

展示コースを実施する側と参加する側の狙いを一致させるため、本分野についてもセミナー開催にあたっては、特定市場を対象とした商品を選定する。89年度内に、8回セミナーを開催する予定。

4. 貿易研修

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

貿易研修については、1987年度に実施した研修ニーズ分析調査に基づき22コースのカリキュラムを開発して年間研修計画を作成し、1988年11月末までに49回実施し合計2,181名が受講した。（12月末までに、さらに5回実施し、年間計54回実施の予定。）

コース別には、まず輸出基礎コース（Basics of Exporting）を17回（うち地方研修は7回）実施し、計901名が受講した。

また、上級・特別コースとして、輸出マーケティング管理コースを4回、受講生計111名、輸出コスト・輸出価格コースを3回、同88名、輸出金融コースを2回、同33名、輸出品生産管理コースを2回、同36名、商談・契約コースを2回、同73名実施した他、輸出マーケット

リサーチ、実践的ビジネスコレスポネンス、日本市場参入（衣類、食品及び家具）、G S P等のコースを各1回、計150名が受講した。

この他、政府職員コースとしては、地方政府輸出担当職員及び貿易工業省職員を対象とするコースを各1回、計49名が受講した。

さらにPTTCは、既に協力関係を確立しているEC、西ドイツ、スイス、カナダ、豪州等の貿易関係機関の協力を得て、特定市場別、特定商品別のコースを12コース計13回実施し、計731名が受講した。

このように研修初年度としては、研修内容、レベルに若干問題はあったものの、全体としては当初予定を上回る研修が実施されたことは評価できる。

なお、各コースとも研修終了後、評価を行い、その結果を基に必要なに応じてカリキュラムの改訂を行い次回のコースに反映させる等研修内容の改善に努力していることが認められた。また、受講生に対しても研修終了後6ヵ月経過時にアンケート調査を行い、研修効果の把握に努めているとの報告があった。（別添資料 参照）

② 専門家派遣

長期専門家については、年度当初、2名（井尻専門家及び高木専門家）であったが、1988年5月に高木専門家の後任として奥村専門家が赴任したのに引続き同年7月、川喜多専門家が赴任し、臨時的に3名体制となって現在に至っている。

短期専門家については、研修初年度ということもあり、基礎的な貿易理論・実務の技術移転が中心であったことから、特定分野の専門家派遣要請が明確にはなされず、したがってこれまで派遣実績はない。

③ カウンターパートへの技術移転

貿易研修のカウンターパートは以下の7名が配置されている他、貿易研修実施担当部門（Business Management Division）には6名が配置されている。

- a) Ms. Maria Tersa Coligado
- b) Ms. Ferizbert Bombase
- c) Mr. Francisco Perfecto
- d) Mr. Bonifacio Belen
- e) Mr. Rommel Augustin
- f) Mr. David Inocencio
- g) Mr. Bonifacio Alano

長期専門家のカウンターパートへの技術移転に当って、分野を概ね次のように分担している。

a) 井尻専門家

- i) 商談実務 (バイヤー発掘から成約まで)
- ii) 採算のとり方 (輸出価格の決定)
- iii) 貿易金融

b) 川喜多専門家

- i) 契約 (貿易手続、商談上留意事項、成約・契約)
- ii) 国際ルール・規則 (INCOTERMS、貿易関連法規、国際慣習、国際商事仲裁)

c) 奥村専門家

- i) 市場調査・海外マーケティング計画
- ii) 運輸・保険 (検査、梱包、通関、船積)

上記3専門家の他、松本リーダーも関与し、輸出基礎コースを総括している他、特定市場・特定商品コース及び地方研修についても3専門家と共同で指導している。3専門家は、上記担当分野に沿って輸出基礎コースから上級・特別コースにわたって、カウンターパートに対し技術移転を行っている。

技術移転については、次のように実施している。

a) P T T Cが研修実施計画 (カリキュラム、日程、講師等) を作成するに当たって、専門家はガイドラインを提示するとともに、適宜要請及び必要に応じて指導する。

b) 研修講師となるカウンターパートへの技術移転は、カウンターパートの教材作成時の助言・指導、講義への立会い及び講義終了後の助言・指導 (事後評価を含む) 等の形態で実施している。

なお、P T T C側は、カウンターパートを貿易に係る全般的な知見を持つジェネラリストとして養成するとの基本理念に基づき、技術移転を要請していたため、各専門家もカウンターパートに対して万遍なく指導してきたが、未だ基礎的な知見が十分に備わっていないとしており、カウンターパートのより一層の研鑽が必要であるとしている。

③ 研修員の受入れ

貿易研修の研修員受入れについて、1988年度はこれまで実績がないが、第4四半期に1名、展示研修を含めた貿易研修分野での受入れ (Mr. Dennis Cruz) を予定している。

④ 機材の利用状況

1988年度の研修実績からみて貿易研修については、研修教室 (Seminar Room) 及び装備されている視聴覚機材 (V T R プロジェクター、オーバーヘッドプロジェクター等) の使用頻度は高いと評価できる。

本調査団のセンター訪問時には、輸出基礎コースが開講中で、視聴覚機材を活用したグループ発表が行われていた。

(2) 1989年度年次計画

① 研修計画

1989年度の研修計画については、アウトラインが作成された段階であり（12月13日に開催された合同委員会－調査団員全員出席－で承認された。）、詳細な内容については、今後長期専門家と十分協議しながら作成していくとの説明があった。

アウトライン計画によれば、全体で122回の研修規模のうち、貿易研修は82回の実施を計画している。

コース別では、輸出基礎コースは22回予定しているが、うち16回は地方研修で実施したいとしている。上級・個別コースについては、特定市場・特定商品コース（セミナー）（29回）、政府職員コース（13回）等に重点を置いて実施したいとしている。

また、新規コースとして、再輸出のための輸入コースを開発し、2回実施したいとしている。

② カウンターパートへの技術移転

既に述べたように、1989年度の研修実施規模が拡大されることから、長期専門家より、カウンターパートへの技術移転に必要な時間が減少するとの懸念が表明された。

これに対し、調査団より、活動計画の中に技術移転日程を組み込み（例えば、研修コース実施評価作業終了時から次期研修コース実施準備開始時までの間）、計画的に実施してはどうかとの提案を行った。PTTC側もこれを了し、カウンターパートに技術移転項目別に分担させることとし、長期専門家の分担に対応して技術移転を受けることとしたい旨発言し、輸出基礎コースの技術項目を例示して、項目毎にカウンターパート及び長期専門家を配置した。長期専門家より、項目分類並びにカウンターパート及び長期専門家の担当については、今後両者間で十分協議の上、最終的に決定すべき旨主張したところ、PTTC側もこれを了承し、基本的方向についてのみ双方の合意を見た。

また、長期専門家より、カウンターパートは、長期専門家からの技術移転はもちろん、例えば、他のコースを研修生として受講すること等により外部講師からの技術移転や情報収集を積極的に行い、資質を高める努力をすべき旨提案したところ、PTTC側も理解を示した。

③ 研修員受入れ

1989年度のカウンターパート研修員受入れについて、PTTC側より人選ができていない旨の発言があった。

我が方側より、カウンターパートが決まり、受入れも確認された時点で、当該カウンターパートは、出発前に貿易の基礎知識を十分勉強していくことが、研修効果を高める上で必要不可欠である旨強調したところ、PTTC側もその必要性を理解し、努力する旨約束した。

5. 展示研修

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

展示研修については、当初の年間計画では1コース実施することとしていたが、結果的には、Module 1（貿易展示会参加・活用法コース＝基礎的コース）及びModule 2（展示会企画・展示技術コース）の2コースにつき計3回実施した。研修生は2回分で計57名が受講した。（調査団派遣時にModule 1の第2回目の研修が実施中であった。内容としては、研修教室における座学その他、研修生が商品サンプルを持ち込み、展示ホールの一部を使用して模擬展示を行い、コンテストの要素を導入して実習に近い研修も実施した。

② 専門家派遣

長期専門家については、1987年5月からリーダーとして派遣されている松本専門家が引き続き展示研修を兼務して対応している。短期専門家の派遣実績はない。

③ カウンターパートへの技術移転

展示研修のカウンターパートは、センターの展示研修実施部門の責任者でもあるMr. Dennis Cruz及びフルタイムファカルティの1人であるMr. Leonald Roseteの2名が配置されている他、事務担当職員が1名いる。

また、1988年度の研修には外部講師として、貿易工業省国際貿易グループ関係機関であるCITEM（国際貿易展示センター）やPDDCP（製品デザイン開発センター）、また大学や企業等から12名が招かれ講義を行った。

専門家からの技術移転については、カウンターパートがコースカリキュラムを開発する時点から専門家が参加し、適宜指導助言を行い、研修コースの実施（座学及び模擬展示による実習）にも立会って技術指導を行っている。

④ 研修員の受入れ

展示研修の研修員受入れについて1988年度は第4四半期にMr. Leonald Roseteを予定している。

⑤ 機材の利用状況

展示研修コースは、座学については貿易研修と同様研修教室及び装備されている視聴覚機材を活用しており、本調査団訪問時にはModule 1の本年2回目のコースが開かれており、オーバーヘッドプロジェクター等の機材を活用した講義が行われていた。

実習については、展示ホールスペースの一部を使って研修生が持参した商品サンプルを模擬展示し、講師及び専門家が適宜指導しているが、模擬展示に必要なポール、パネル等の展示用機材を活用している。

展示ホールの利用については、上記展示研修での利用の他、外部の展示に貸出しており、1988年度は、4月15日から12月31日までの間(253日)のうち保守整備期間(50.6日)を除い

た使用可能日数(202.4日)に対して11月末現在では15回、85日間使用され、12月末までの予定を加えると合計22回、102日となり、使用率は50.39%となる。これは年度当初予測の33%を大幅に上回るものであり、展示ホールの利用状況は極めて良好であると判断できる。

なお、使用実績については別添資料のとおりである。

(2) 1989年度年次計画

① 研修計画

1989年度は、前年度に実施したModule 1及び2についてカリキュラム及び研修内容を改善して実施する他、新たにModule 3(貿易展示会の計画実施運営手法=展示マネジメントコース)及び4(個別商品の効果的展示手法)の2コースを開発して実施する予定である。

これら4コースにつき、PTTCにおいて各1回計4回、また、国内展示会(3rd Island Trade Fair)の開催が予定されるルソン島、ミンダナオ島等における地方研修についても貿易工業省地方事務所貿易担当官の協力を得てModule 1、2及び3について計4回実施する計画である。

② カウンターパートへの技術移転

PTTC側は、現在の展示研修担当カウンターパート及び事務職員では研修コースの実施、展示ホールの外部貸出し事務等に十分対応できないとして、スタッフの拡充が必要不可欠であるとし、そのためには未だ締結されていないCITEMとの協力協定の早期締結が前提である旨説明があった。

本件については、調査団より、調査団とPTTCとの全体協議及び合同委員会においてフィリピン側の善処を要請した。

③ 研修員の受入れ

1989年度については、PTTC側より人選は決っていないが、是非受入れてほしいとの要望があった。

④ 展示ホールの利用

展示ホールの利用については前年度に引き続き、外部への貸出しを積極的に進め、利用率を75~80%に引き上げることを目標としている。そのためには、手続の定型化・合理化に努め、国内主催者のみならず海外主催者の勧誘も行っていきたいとの説明があった。

SUMMARY OF PTTC TRAINING COURSES IMPLEMENTED AS OF NOVEMBER 1988

COURSE TITLE	NO. OF COURSES		DATE	NO. OF PARTICIPANTS
	ACTUAL	PROJECTED		
I. TRADE BUSINESS				
A. Basics of Exporting				
1. Manila	10	1	Jan. 25-29 Apr. 11-15 May 2-5 June 6-10 July 5-9 Aug. 1-5 (FCCC) Aug. 15-19 Sept. 12-16 Oct. 3-7 Nov. 14-18 Dec. 5-9 *	46 54 32 44 86 68 35 54 57 50
2. Regional Pampanga Bulacan Olongapo Naga Cebu Samar Lucena, Quezon Tuguegarao	7	1	April 18-20 June 27-July 1 Aug. 29-31 Aug. 26-27 Sept. 1-3 Sept. 20-22 Aug. 26-27 Dec. 12-14 *	50 25 20 33 180 47 20
3. Export Marketing Management	4	1	March 7-12 June 13-25 Aug. 1-12 Nov. 21-25(FCCC) Dec. 12-16 *	56 24 20 11
4. Export Costing & Pricing	3	1	Feb. 18-19 May 2-5 August 22 Dec. 5-6 *	39 33 16
5. Financing for Exporters	2	1	June 13-17 Sept. 5-6 Dec. 1-3 *	13 20
6. Production Mgt. & Control	2		April 26-30 Sept. 7-9	21 15
7. Sales Offers & Contracts	2		Aug. 29-30 Nov. 28-29	36 37

COURSE TITLE	NO. OF COURSES		DATE	NO. OF PARTICIPANTS
	ACTUAL	PROJECTED		
8. Market Research	1		Sept. 1	22
9. Practical Business Correspondence	1		Sept. 17-Oct. 22	36
10. Generalized System of Preferences	1		Sept. 26-27	15
11. Market Penetration to Japan for Garments, Food & Furniture	1		Sept. 29-30	86
12. FTSC Training	1		June 11-21	18
13. Training of Regional Trade Officers	1		November 21-25	31
14. Japanese Language Rush Course	4		June 27-Aug. 24	20
			Aug. 2-30	10
			Sept. 5-Oct. 7	20
Level 1			Oct. 17-Dec. 14	18
SUB-TOTAL	40	6		1518
II. TESTING AND INSPECTION				
A. Furniture	4		June 6-21	9
			Aug. 1-16	16
			Sept. 26-Oct. 11	7
			Nov. 7-22	23
B. Garments	8		April 19-22	21
			May 2-5	21
			May 23 - June 21	10
			July 12-15	22
			Sept. 6-9	7
			July 25-29	15
			August 16-18	15
			Sept. 19-23	16
C. Food	4		July 25-29	16
			Oct. 3-7	22
			Nov. 7-11	28
			Nov. 21-25	32
SUB-TOTAL	16			280

COURSE TITLE	NO. OF COURSES		DATE	NO. OF PARTICIPANTS
	ACTUAL	PROJECTED		
III. TRADE EXHIBITIONS				
A. How to Participate in Trade Fair	1	1	June 28-30 Dec. 12-14 *	32
B. Technical & Creative Aspects of Exhibitions	1		Aug. 29-Sept. 2	25
SUB-TOTAL	2	1		57
IV. FOREIGN ASSISTED PROJECTS				
A. CBI Seminar Workshop on General Export Marketing	1		Feb. 1-5	29
B. TFO Mkt. Info. Seminar on Furniture for Canada	1		Feb. 15-16	71
C. IMPOD Production Mgt. for Furniture for Sweden	2			
Manila			Feb. 23-24	93
Cebu			Feb. 29 - March 1	52
D. US Customs Import Requirements	1		March 21-22	117
E. Purchasing & Contracting System of US Bases for Garments	1		May 12	50
F. ITC Market Entry Strategies for Garments in the Middle East	1		May 9-20	16
G. Canadian International Trade Statistics	1		Sept. 23	42
H. TFO Market Info. Seminar on X'mas Decors for Canada	1		Oct. 13-14	107
I. CBI Training on Export Promotions (PROMOTOR)	1		Oct. 18-22	45
J. CBI Seminar on Car Parts for the EEC Market	1		Oct. 17-22	21
K. Australian Seminar on Anti-Dumping	1		October 24	22
L. TFO Market Info. Seminar on Non-Critical Garments Canada	1		Nov. 14-16	66
SUB-TOTAL	13	0		731
OVER ALL TOTAL :	71	6		2586

Seminars Covered : February - August 1988
 Total No. of Participants : 711

Highlights				Rank
1.	Sex:	Female	430 (60.5)	1
		Male	281 (39.5)	2
			<u>711 (100)</u>	
2.	Age:	20 - 30	387 (54.4)	1
		31 - 40	265 (37.3)	2
		41 - 60	57 (8.0)	3
		60 - up	2 (0.3)	4
			<u>711 (100)</u>	
3.	Highest Educational Attainment:	College	642 (90.3)	1
		Some College	35 (5.0)	2
		Graduate Studies	26 (3.6)	3
		High School	8 (1.1)	4
			<u>711 (100)</u>	
4.	Product Lines:	Garments	176 (25.0)	1
		Gifts, Toys, Housewares	129 (18.1)	2
		Furniture	96 (13.5)	3
		Food	79 (11.1)	4
		Government Agency	52 (7.3)	5
		Handicrafts	47 (6.6)	6
		Fashion Accessories	44 (6.1)	7
		Service	36 (5.0)	8
		Others*	17 (2.4)	9
		Construction Materials	15 (2.1)	10
		Footwear Leathergoods	11 (1.5)	11
		Machineries & Equipment	9 (1.3)	12
	<u>711 (100)</u>			
5.	Nature of Business:	Exporter	324 (45.6)	1
		Would-be-exporter	228 (32.1)	2
		Domestic Trader	77 (10.8)	3
		Government Agency	52 (7.3)	4
		Sub-contractor	30 (4.2)	5
			<u>711 (100)</u>	

Note: Others* include:
 1. plastic products
 2. bottles
 3. printing
 4. auto batteries
 5. paper rolls

SUMMARY OF SCHEDULE FOR USE OF PITC EXHIBITION HALLS/
FACILITIES FOR THE YEAR 1988

<u>Date</u>	<u>Event</u>	<u>Facilities Used</u>	<u>Organizer</u>
April 21 - May 1	7th Manila Fane Gifts, Toys, Housewares Market Week	Halls A, B & C	CITEM
May 23	PITC Inauguration		
June 16	Orientation for New Employees	Hall B	DTI-HRD
June 17	Export Strategies for Penetrating International Markets	Hall B	Phil. Marketing Association
August 12	Business Opportunities with European Economics Community	Hall B	Phil. Marketing Association
August 22 - 26	Retailers Convention	Halls A & B Lobby	National Retailers Convention of BDTP
August 15	Cocktail Reception for ASEAN Ministers		
September 12	GTEB Dialogue with Exporters	Hall B	Garments and Textile Export Board
October 3	Boosting Exports thru INTERNATIONAL FACTORING	Hall B Sem. Rm. D	FINEX
October 6 -18	8th Manila F.A.M.E. Gifts, Toys, Housewares and Fashion Accessories Market Week		CITEM
October 25 9 31	Moneyworld '88	Hall A, B, & C Seminar Rm. C & D	Accessories International Organizers
November 7 - 11	Investors Forum	Hall A, B, C Lobby, Sem. Rm. D	Board of Investment
November 11 - 21	GSP Exhibit	Exhibition Hall C	Bureau of Export Trade Promotion

.../2

November 14-19	Packaging Week '88	Halls A,B,C	Packaging Institute of the Phils.
November 24 - Dec.5	Gifts Fest '88	Hall B	Island Trade Dev't. Corp.
December 10	Human Rights Week	Hall B	Commission on Human Rights
December 12-15	Golden Shell Awards Presentation	Hall B	C I T E M
December 16	Carolfest '88	Halls A,B,C	Department of Trade & Industry
December 20	DTI Annual Conferences/ Meetings (BOI)	Hall B	Board of Investment
December 21	DTI Annual Conferences/ Meetings (GTEB)	Hall B	Garments & Textile Export Board
December 22	DTI Annual Conferences/ Meetings (EPZA)	Hall B	Export Processi Zone Authority
December 23	DTI Annual Conferences/ Meetings (PTTC)	Hall B	PTTC

6. 輸出検査（家具）

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

輸出検査／家具分野では、1988年5月23日の開所式以降「家具試験検査コース」として4回のセミナーが実施された。研修の概要は、以下のとおり。

I) 1コース当たりの研修生は、原則15名まで。

II) 研修日数 12日間

III) 講義は、テキスト約130頁、他に検査・試験実習用教材がある。

また、視聴覚AV機器の利用を心掛け、ビデオ、OHP、スライド等をFacultyにも使用する様打ち合わせている。なお、研修プログラムは、別添-1のとおり。

IV) 研修生は、研修の指導項目が検査・試験のため、技術的に管理・監督的立場を考慮し、工場長、技術管理者を対象とし、また、政府職員は、本省、Regional Office共Engineerクラスとしている。

なお、テキストの作成に当たっては、各々の専門別のFacultyとDiscussionを行いながら、編集したが、研修レベルの向上に合わせ部分的に改訂・増補を予定している。

1回のセミナーにおける研修生を計画当初15名に限定したのは、設置機材数と、家具試験室を研修室（座学を主体）に使用するため、実習時の機材の配置と指導の適正化等から決定したが、表-1にみるとおり、第3回及び第4回のセミナーにおいては、参加予定者の欠席や次回への参加繰り延べ等で人数に変動が生じた。

表-1

セミナー	期 間	研修生数	備 考
第1回	'88. 6. 6 ~ 6.21	10名	政府職員0名、私企業10名
第2回	8. 1 ~ 8.16	15名	政府職員0名、私企業15名
第3回	9.26 ~ 10.11	7名	政府職員2名、私企業5名
第4回	11. 7 ~ 11.21	23名	政府職員6名、私企業17名
次 回	'89. 1.16 ~ 1.31	()	()
計		55名	政府職員8名、私企業47名

また、Programに示すとおり、技術センター、研究所並びに関連企業の見学研修を2日間とした。フィリピンでは、関連工場の人元より、外部の人に工場内部は見せたがらないとのことで、研修生はセミナーの機会に家内工業センター、林産開発研究所並びに輸出家具製造工場の見学は、研修効果に役立っているようである。

② 専門家派遣

現在、長期専門家として、竹内阪蔵専門家（派遣期間、昭和62年10月14日～平成元年10月13日）が派遣され、カウンターパート及びFacultyへの技術移転に従事している。

なお、本年度計画として、家具設計と強度計測に関して短期専門家の派遣要請が出された。

③ カウンターパートへの技術移転

a) カウンターパートの配置

P T T Cにおける輸出検査部門では、直接の担当課であるTesting & Inspection Division (T I D) があり、ChiefとしてMs. Alice L. Galvan、また、Training CoordinatorとしてMr. Ramon G. Catarataがカウンターパートとして配置されている。

また、この他に外部Faculty(輸出検査部門では研修実施協力機関の講師担当者)として

- ・ Mr. Jorge E. Mondo (C I T C、家具工業技術センター、技術部長)
- ・ Mr. Ricaldo F. Casin (F P R D I、科学技術省林産開発研究所、主席技師)
- ・ Mr. Melencio Laxamana (" "、講師)
- ・ Mrs. Adelina Manas (" "、講師)
- ・ Mrs. Josefina G. Palisoc(" "、講師)
- ・ Mr. Romualdo Sta Ana (C F I P、フィリピン家具工業会、技術コンサルタント)

により編成されている。(カウンターパート及び協力機関等リストは別添-2を参照のこと)なお、P T T Cの要請により、D T Iの製品規格局(Bureau of Product Standard)の担当官が、Philippine Standardについて説明に来てくれるようになっているが、当国には関連の規格がないので、未だ実現していない。

b) 技術移転項目

外部Facultyは、各々専門分野ごとにその技術レベルは指導的な域に達しているのもので、特に問題はないが、Mr. Ramon G. Catarataについては、これからのP T T Cの家具検査・試験部門の中核の一人として、技術移転を実施しており、木材、竹材及び籐材の材質、並びにこれらを使用した家具製品の検査・試験について特訓を行っている。外部Facultyには、フィリピンに家具を含めた検査・試験方法の規格がないので、J I S、I S Oに基づく試験方法等、セミナー開設時に合わせて、講義、及び検査機材を利用して技術指導を行っている。

技術移転項目としては、

- 1) 家具・木製品概要
- 2) 家具に係わる規格-J I S、I S O、消費生活用製品安全法によるS G規格等
- 3) 接合構造と加工法
- 4) 試料(試験体)作成要領
- 5) 他には、木材の等級別判定、籐材の品目判定

試験・検査の実習としては、

1) 材料試験方法（Ⅰ）基礎試験

- (a) 材料の比重計測、含水率の正確な測定
- (b) 物理・機械的強度の計測（材料の引張り強度、圧縮及び曲げ、接着せん断等）
- (c) 目視評価法、加工面の仕上げ効果の判定
- (d) 試験機操作法、万能試験機、家具性能試験機、塩水噴霧機等

2) 材料試験方法（Ⅱ）

- (a) 家具製品について各々の検査・試験を実施する。

椅子—繰返し衝撃試験及び安定性等

テーブル、事務机—側方荷重試験等

キャビネット—側方荷重試験等

- (b) 塗料、塗装について

塗料—粘度、乾燥時間等

塗装—クロスカット試験、塗膜引掻、その他密着性と光沢度の計測等

- (c) 椅子貼り材料、包装材料の試験

椅子貼り生地、ビニールレザー等の摩耗試験

ダンボール紙等包装材料の破裂度試験（ミュールン式）、折り曲げ試験等

3) 検査方法

- (a) 検査機器操作法—木材含水率計等形態用機器による検査
- (b) 性能・品質評価法—J I S、I S O等による品質評価判定方法
- (c) その他

- ・ 供与機材の整備、点検、その他保守要領の指導
- ・ 工場見学研修時の安全指導、調査項目の内容検討

等の技術移転を実施している。

④ 研修員の受入れ

本年度は、外部Faculty の家内工業技術センター技術部長Mr. Jorge E. Mondo 1名が予定されている。日本受入れ研修については、P T T C側及び日本人専門家側との検討により、集団研修の「認証制度に関する研修」を受けさせ、同研修終了後は、公設試験研究機関（例、神奈川県家具指導センター、埼玉県技術センター等）や国の検査機関、また関連企業を視察させて、我が国企業の生産性等の実情を認識させる予定である。

⑤ 機材の利用状況

3月15日の引渡し式から、P T T C側に管理が移され、機材の整備、点検・保守をカウンターパートに指導しており、開所式後は、第1回のセミナー（6/6～6/21）より、研修内容に基づく機材の活用を実施している。

⑥ '88年度供与機材の要望について

1) 研修用家具資料

フィリピンには、家具規格もなく、従って寸法上の統一化も図られていない。机の広さは元より高さは“ばらばら”である。このようなことから製品の規格化（標準化）の技術指導の教材として、日本の家具資料を要請している。

2) 家具検査指導用測定器具

家具検査指導用測定器具（木材含水率計、ノギス・プッシュフルスケール等）の供与を要請している。これは各々DTIの地方事務所員が当センターで研修を受けても、そのOfficeに検査器具が無い場合、習得技術の実践が困難である。従って研修効果を実践するため、検査機材を各地方事務所に貸与し、必要に応じ検査技術の指導を実施させるとの観点による。

(2) 1989年度年次計画

① '89年度のセミナー計画

'89年度のセミナー開催計画は表-2のとおり5回を予定している。

表-2

セミナー	期 間
第1回	'89. 1. 16 ~ 1. 21
第2回	4. 3 ~ 4. 18
第3回	6. 5 ~ 6. 20
第4回	9. 18 ~ 10. 3
第5回	11. 6 ~ 11. 21

上記、PTTCが実施するセミナーと別に、カナダ、スウェーデン他の各国の家具を対象とした1~2日程度のセミナーが予定されているが、これらについては直接には関与しない。

セミナーの実施計画に当たっては、試験・検査課課長Ms. Alice Galvan他担当者及び外部Faculty並びに竹内専門家との打合せにより立案され、所長、Mr. A. J. Tironaも了承している。

研修のレベルは本年と同様、工場長・技術管理者クラスとしており、従って研修技術の内容は若干高い。

研修の概要については、基本的技術は現状を維持しつつ、試験・検査の内容については刷新を図り、レベルの向上を検討している。

試験・検査に係る研修項目（計画）を例示すると次のとおりである。

- a) 椅子の強度試験、肘掛け椅子の肘掛け強度、応接用椅子のクッション性試験等
- b) 事務用机の試験—抽出しの平滑性、引手の強度測定

- c) キャビネットの試験—扉のヒンジ（蝶番）、抽出しの強度安定性の測定等
- d) 塗装効果の判定—表面平滑度、光沢度の測定
- e) 家具用金物の耐蝕性試験

なお、'88年度の供与機材として、J I S規格、学校用、事務用家具類の供与を要請しており、これらの機材の利用と共に、家具の規格化も併せて研修の内容に組み入れる予定である。

② 専門家派遣

'89年度には、長期専門家の技術を補填する観点から塗装分野の検査・試験に関する短期専門家の派遣について要請があった。受入れ時期としては、第3回（6月初旬～中旬）又は第4回（9月下旬～10月上旬）のセミナー開催時に来比願えれば、研修効果の向上に役立つとのことである。

③ カウンターパートへの技術移転

これについては、前述(1)の後半で記述した研修内容に基づき、研修技術の内容の向上のため、カウンターパートは元より外部Facultyへの技術移転を図る計画である。

④ 研修員の受入れ

'89年度は、本年度と同じく1名を認証検査制度の研修に予定しているが、これに加えて、受入れ枠に余裕があれば、P T T CのMr. Ramonを試験・検査に関する単独研修に参加させたい旨の要望があった。

⑤ '89年度の供与機材としては、次の機材を要請する予定である。

No.	優先度	機材名	数量	用途
1	A	恒温恒湿器	1	塗料、接着剤の環境条件の比較（高温・低湿度及び高湿度）の検査及び指導に使用
2	A	小型帯鋸機	1	試験用試料の加工、切削に使用
3	B	小型彫刻機	1	家具金物及び検査済マークの加工等、製品の品質向上の指導に使用
4	B	標準光源装置	1	塗装製品及び試料板の標準光遂げんによる判定に使用
5	A	小型油圧ポンプ ユニット	1	接着試験体加工時の試料圧縮用押圧力の動力として使用

以上の供与機材は、技術移転における指導効果の向上として、環境条件に基づく規格設定の基礎要因の確認、試料加工時の効率化及び試料の判定時の均一化を目的として要請しているものであり、セミナー及び技術移転内容の充実のために必要と思われる。

(3) 実施上の問題点

輸出検査（家具）について、技術移転上特に問題となるものは無い。しかし、専門家から上げられた懸案・要望事項は次のとおりである。

- ① P T T Cにおける技術移転対象のカンウターパートは、現在Mr. Ramon 1名であるので、今後の業務充実に伴い、少なくとも2名あるいは3名の増員が望ましい。

従って、外部FacultyのP T T Cへの配置換え、又はRegional Officeの技術系職員の配置換えなどをTirona所長に要請する。（現在、1～2名の候補者がいるようであるが、採用に至っていない。）

- ② 供与機材について、現在の研修には特に不十分という事ではないが、今後の技術移転の高度化に伴い、機材の早期実現が必要。

- ③ 短期専門家の派遣について、塗装技術は、一般に技能的要素の範囲があり、長期専門家の技術範囲の枠より広がる。塗装は家具の最終仕上げ工程であり、その塗装効果の良否が製品の優劣に左右される事があるので、適切な塗料と、適正な検査・試験方法の指導ができる専門家の派遣を依頼する。

QUALITY INSPECTION AND TESTING
FOR WOODEN FURNITURE

SEPTEMBER 26 - OCTOBER 11, 1988
8:30 AM - 5:00 PM

COURSE PROGRAMME

DAY 1 -	Morning	September 26, 1988
8:00	Registration	
8:30	Opening Remarks	ANTONIO J. TRIA TERONA Executive Director, PTTC
8:40	Overview of the Furniture Industry and the importance of Inspection and Testing for Quality Control of Furniture Products for Export. (Lecture discussion)	Ricardo F. Casin FPRDI Rony Sta. Ana CFIP
9:40	B R E A K	
10:00	Continuation (Lecture)	
12:00	Lunch Break	
DAY 1	Afternoon	
1:00	Quality Control Principles Techniques (Lecture discussion)	Rony Sta. Ana CFIP
3:00	B R E A K	
3:15	Continuation (Lecture)	
5:00	End of the Session	
DAY 2 -	Morning	September 27, 1988
INSPECTION AND TESTING OF RAW MATERIALS: WOOD		
8:30	Selection, Sorting and Grading of Lumber: Wood Drying (Lecture discussion) (AV Presentation)	Melencio G. Laxamana FPRDI
9:45	B R E A K	
10:00	Selection, Sorting and Grading of Lumber: Drying Stresses	Melencio G. Laxamana FPRDI
12:00	Lunch Break	

DAY 2 -	Afternoon	
1:00	Selection, Sorting and Grading of Lumber: Lumber Grading	Helencio G. Laxamana FPROI
2:00	Selection, Sorting and Grading of Lumber: Wooden Raw Materials	Helencio G. Laxamana FPROI
3:00	B R E A K	
3:15	Testing for Dryness or Moisture Content (Lecture)	Helencio G. Laxamana FPROI Ramon G. Calarala PTTC
4:15	Continuation (practice) Preparation of Test specimens Oven Dry Method	
5:00	End of the Session	

DAY 3 - Morning September 20, 1988

INSPECTION AND TESTING AND RAW MATERIALS: WOOD

8:30	Testing for Dryness or Moisture Content (Practice)	Helencio G. Laxamana FPROI Ramon G. Calarala PTTC
9:45	B R E A K	
10:00	Testing for Dryness or Moisture Content DC Meter Method (Computation of test results)	Helencio G. Laxamana FPROI Ramon G. Calarala PTTC
11:00	Testing for Specific Gravity (Lecture Discussion) (Computation)	Helencio G. Laxamana FPROI

12:00 Lunch Break

DAY 3 -	Afternoon	
1:00	Milling and Assembling (Lecture and AV Presentation)	Helencio G. Laxamana FPROI
3:00	B R E A K	
3:15	Testing for Mechanical Strength (Lecture Discussion)	Helencio G. Laxamana FPROI
4:00	Testing for Mechanical Strength (Practice)	Helencio G. Laxamana FPROI

5:00	End of the Session	Ramon G. Catarala PTTC
------	--------------------	---------------------------

DAY 4 -	Morning	September 29, 1988
---------	---------	--------------------

INSPECTION AND TESTING OF RAW MATERIALS: GLUE

8:30	Types and Uses of Wood Glue: Adhesives and Gluing (Lecture)	Adelina Manas Melencio G. Laxamana FPRDI
------	--	--

9:45	B R E A K	
------	-----------	--

10:00	Continuation (Lecture)	
-------	------------------------	--

11:00	Testing Adhesives (Lecture)	Adelina Manas Melencio G. Laxamana FPRDI
-------	-----------------------------	--

DAY 4 -	Afternoon	
---------	-----------	--

1:00	Testing Glue for Bond Strength Viscosity, pot life and other Properties (Practice)	Adelina Manas Melencio G. Laxamana FPRDI
------	--	--

3:00	B R E A K	Ramon G. Catarala PTTC
------	-----------	---------------------------

3:15	Continuation (Practice)	
------	-------------------------	--

5:00	End of the Session	
------	--------------------	--

DAY 5 -	Morning	September 30, 1988
---------	---------	--------------------

INSPECTION AND TESTING OF RAW MATERIALS: PAINTS AND LACQUERS

8:30	Finishing and Finishing Techniques (Lecture)	Josefina Palisoc Melencio G. Laxamana FPRDI
------	---	---

9:45	B R E A K	
------	-----------	--

10:00	Continuation (Lecture)	
-------	------------------------	--

12:00	Lunch-Break	
-------	-------------	--

DAY 5 -	Afternoon	
---------	-----------	--

1:00	Test for Finishes (Lecture)	Josefina Palisoc Melencio G. Laxamana FPRDI
------	-----------------------------	---

2:00	Test for Finishes (Practice)	Josefina Palisoc Melencio G. Laxamana FPRDI
------	------------------------------	---

3:00	B R E A K	Ramon G. Catarala PTTC
------	-----------	---------------------------

3:15	Continuation (Practice)	
5:00	End of the Session	
<hr/>		
DAY 6 -	Whole Day	October 03, 1988
<hr/>		
8:30	Plant Visits Mejore, Design Ligna and Exponent Hood Atl.	(FPRD 1.)
<hr/>		
DAY 7 -	Morning	October 04, 1988
<hr/>		
INSPECTION AND TESTING OF:		
8:30	Upholstery and Packaging Materials (Lecture)	James So CEIP
9:45	B R E A K	
10:00	Upholstery and Packaging Materials (Practice)	James So CEIP Ramon G. Catarala
12:00	Lunch Break	PTTC
<hr/>		
DAY 7	Afternoon	
1:00	Testing Strength of Joints (Lecture Discussion)	Jorge Bando CITC Relencio G. Laramana
3:00	B R E A K	FPRDI Sakazo Takeuchi
3:15	Continuation (Lecture Discussion)	JICA Ramon G. Catarala
5:00	End of the Session	PTTC
<hr/>		
DAY 8 -	Morning	October 05, 1988
<hr/>		
8:30	Testing Strength of Joints (Practice)	
9:45	B R E A K	
10:00	Continuation (Practice)	
12:00	Lunch Break	
<hr/>		
DAY 8 -	Afternoon	
1:00	Continuation (Practice)	
3:00	B R E A K	
3:15	Continuation (Practice) Computation of Test Results	
4:00	Continuation (Practice) Evaluation of Test Results	

5:00 End of the Session

DAY 9 - Morning October 06, 1988

TESTING OF FINISHED PRODUCTS

8:30 Stability Test for Chair
(Lecture and Practice) Sakazo Takeuchi
JICA
Ramon G. Catarala
PTTC

9:45 B R E A K

10:00 Continuation (Lecture and Practice)

12:00 Lunch Break

DAY 9 Afternoon

1:00 Rocking Test for Chair
(Practice) Jorge Hundo
CITC
Helencio G. Lazanana
FPRDI
Sakazo Takeuchi
JICA
Ramon G. Catarala
PTTC

3:00 B R E A K

3:15 Continuation (Practice)

4:00 Continuation
(Interpretation of Test Results)

5:00 End of the Session

DAY 10 - Morning October 07, 1988

TESTING OF FINISHED PRODUCTS

8:30 Horizontal Pushing: Table
(Lecture Discussion) Jorge Hundo
CITC
Helencio G. Lazanana

9:45 B R E A K

10:00 Continuation (Practice) FPRDI
Sakazo Takeuchi
JICA

12:00 Lunch Break

DAY 10 Afternoon

1:00 Horizontal Pushing: Cabinet
(Lecture Discussion)

3:00 B R E A K

3:15 Continuation (Practice)

5:00 End of the Session

DAY 11 -	Whole Day	October 10, 1988
	Mejore Co.	
8:30	Plant Visits to	CITC
DAY 12 -	Morning	October 11, 1988
8:30	Open Forum and Consultations	All furniture Speakers and invited guests
9:45	B R E A K	
10:00	Continuation	
12:00	Lunch Break	
DAY 12	Afternoon	
1:00	Continuation	
3:00	B R E A K	
4:00	Closing Ceremony	ANTONIO J. TRIA-TERONA Executive Director, PTTC
5:00	End of the Seminar	

輸出検査(家具)、カウンターパート及び比側協力機関協力者名、リスト

1) PTTC

氏名	年齢	所属部署	役職	専門	その他
Alice L. Garvan 女	32	Testing and Inspection Div. (試験・検査課)	課長	経済	海外研修なし
Ramon G. Catarata 男	30	Testing and Inspection Div. (試験・検査課)	研修助手 (Operator)	機械工学	海外研修なし

2) CITC、(DTI、家内工業技術センター)

氏名	年齢	所属部署	役職	専門	その他
Jorge E. mundo 男	52	木工、竹工、籐加工技術指導部	技術部長	電気工学 (国家試験は機械部門)	12年前、職業訓練 大学校へ、5年前 JICA研修に

3) FPRDI (科学技術省、林産開発研究所、Los Banos)

氏名	年齢	所属部署	役職	専門	その他
Recaldo F. Casin 男	53	木材加工研究部	主席技師	林産加工	USA、他へ数度あり
Melencio Laxamana 男	49	木材加工研究部	講師	林産加工	海外研修なし
Adelinia Mamas 女	42	木材加工研究部	講師	化学	海外研修なし
Josefina G. Palisoc	42	木材加工研究部	講師	化学	海外研修なし

4) CFIP (フィリピン家具工業会)

氏 名	年令	所属部署	役 職	専 門	そ の 他
Romualdo Sta Ana 男	45	Worx Machinery Phils Corp.	技術コンサルタント	機械工学	仕事上、USA、 カナダ、日本へ (セミナーも含む)
James So 男	55	Furniture warehouse	技術コンサルタント	経 営	

5) DTI、BPS (貿易工業省、製品規格局)

氏 名	年令	所属部署	役 職	専 門	そ の 他
Herminio Constantin 男	53	外国規格課	課 長	経 済	オーストラリア他 へ
Rodalfo Viola	38	外国規格課	課長補佐	経 済	



PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER

INTERNATIONAL TRADE CENTER COMPLEX
ROXAS BLVD. COR. SEN. GIL J. PUYAT AVE.
1300 PASAY CITY, PHILIPPINES

TESTING AND QUALITY EVALUATION
OF FURNITURE
(Laboratory Course)

TRAINING PROGRAM FOR 1989

COURSE OBJECTIVE: To provide participants with professional knowledge and skills in testing and inspection, important to establishing quality control from raw materials procurement, through production to export marketing of furniture.

PRODUCT COVERAGE: Wood, bamboo and rattan furniture.

TARGET PARTICIPANTS: Personnel in the furniture industry/business responsible for:

- o materials procurement
- o quality assurance
- o design and product development
- o export operations and marketing

COURSE OUTLINE:

I. OVERVIEW OF THE FURNITURE INDUSTRY/ RESEARCH AND DEVELOPMENT IN THE FIELD

II. IMPORTANCE OF QUALITY CONTROL AND SOME APPLICATIONS IN THE FURNITURE INDUSTRY

III. INSPECTION AND TESTING OF RAW MATERIALS

1. Materials for Furniture: Wood, Rattan & Bamboo

- a. Wood Drying
- b. Shrinkage and Swelling of Wood
- c. Drying Stresses
- d. Grading of Lumber
- e. Tests for Physical Properties of Wood: Moisture Content Determination; Specific Gravity Determination; Bending Strength Determination; Compression Strength Determination.

2. Glues/Adhesives

- a. Types and Uses of Glue
- b. Testing for Physical and Chemical Properties of Glue: Pot life Determination; Viscosity Determination; Solids Determination;
- c. Testing of Glue for Bond Strength: Shear Block or Compression Test; Shear or Tensile Strength Test of Plywood

3. Paints and Lacquers

- a. Properties and Characteristics of Various Types of Paints and Lacquers

DEPARTMENT OF TRADE & INDUSTRY

- b. Techniques and Equipment on Sanding and Surface Preparation
- c. Tests for Finishes: Cross-cut Test; Adhesion Test; Abrasion Test; Impact Test; Pencil Scratch Test; Glass Test; Resistance to Hot & Cold Liquids, etc.

4. Upholstery and Packaging Materials

IV. OPERATIONS AND EQUIPMENT USED IN FURNITURE PRODUCTION

- 1. Wood Processing Equipment for Milling and Assembling
- 2. Assembly and Construction of Furniture

V. JOINERY

- 1. Types and uses of joints
- 2. Joints specification and construction
- 3. Strength Test of joints

VI. TESTING OF FINISHED PRODUCTS

- Strength tests for chair
- Strength tests for table
- Strength tests for cabinet

Participants can bring their samples for testing and consult with Japanese expert, and Faculty from the Philippine Trade Training Center, Forest Products Research and Development Institute (FPRDI), Cottage Industries Technology Research Center (CITC), and Chamber of Furniture Industries of the Philippines (CFIP). Activities also include visits to FPRDI-Los Baños and CITC-Marikina facilities and to furniture companies.

SCHEDULE: January 5 - 20 September 18 - October 3
 April 3 - 18 November 6 - 21
 June 5 - 20

(whole day sessions)

TRAINING FEE: P850.00 per participant, exclusive of meals.

RESERVATIONS

Advanced registration/reservations in each course. Acceptance will be on first-come, first-served basis, upon payment of training fee, in cash or cheque/postal money order/telegraphic transfer payable to the Philippine Trade Training Center.

FOR INQUIRIES, contact:

Philippine Trade Training Center
 TESTING AND INSPECTION DIVISION
 Sen. Gil J. Puyat Ave. cor Roxas Blvd.
 Pasay City
 Telephone Nos. 834-13-44 to 49 loc. 305-307

7. 輸出検査（繊維）

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

昨年10月、長期専門家がフィリピンに着任後、PTRI（フィリピン繊維研究所）及びPTTCのカウンターパートにアドバイスしつつ、コースカリキュラムの作成及びテキストの作成等を行った。また、建屋の完成後には4月の第1回セミナーを皮切りに民間用及び政府機関用別に計8回のセミナーが開催され、述べ126名の参加者があった。

セミナーの開催スケジュールは、表-1のとおりである。

表-1

	期 間	コース名（テーマ）	研修生（対象）
I	'88. 4. 19 ~ 4. 22	糸、織物製造工程の基礎知識	21名（民間）
II	" 5. 2 ~ 5. 5	織物の基礎知識及び使用法	21名（民間）
#	" 5. 24 ~ 6. 20	繊維・衣料品の品質試験・検査	10名（政府）
III	" 7. 12 ~ 7. 15	糸及び織物の基礎試験	22名（民間）
IV	" 7. 25 ~ 7. 29	生地の試験と衣料品の品質検査	14名（民間）
V	" 8. 16 ~ 8. 18	上級／生地の物理試験及び性能要件	15名（民間）
III	" 9. 6 ~ 9. 9	糸及び織物の基礎試験	7名（民間）
VI	" 9. 19 ~ 9. 23	織物の品質検査	16名（民間）

各コースの概要は別添-1のとおりである。

コースの組立ては、政府職員用コース（繊維・衣料品の品質試験・検査）がベースとなっており、繊維の基礎知識に始まり、生地の物理・化学試験、染色堅ろう度、生地の外観検査及び衣料品の外観検査が含まれている。これに対し民間企業用のセミナーは、研修生（受講者）の連続出席可能日数の制約から、政府機関用コースを6分割し実施しているものである。なお、IIIのコースは、研修生の都合により、2回に分け実施した。

講師の大部分は、PTRIの職員であり、その技術レベルは高く、試験の原理、必要性等かなり奥深い講義内容となっており、受講者の評判も良かったようである。

② 専門家派遣

長期専門家として、現在、水野尚清専門家（派遣期間：昭和62年10月14日～平成元年10月13日、*当初、1年の派遣予定であったが、PTTC側の要請によりさらに1年延長した。）が派遣され、カウンターパート及びFacultyへの技術移転に従事している。

また、今年度については、衣料品の外観検査分野として短期専門家の派遣要請が出されている。

フィリピンにおいては、輸出に占める衣料品の割合は大変高く、今後共一層の輸出振興を図ることとしている。この観点からPTTCのセミナーにおいても特に衣料品に関して力を

入れているが、PTRIにおいては、試験については高い技術レベルにあるものの、衣料品の検査に関しては未知の分野である。従って、長期専門家もPTTC及びPTRIに対し衣料品の外観検査について技術移転を行っているが、短期専門家の派遣により、より一層充実した技術指導を行いたい。短期専門家の業務内容としては、一般的な事項は勿論のこと、個別商品（シャツ、ブラウス、ズボン、メリヤス製品等）について商品規格をベースとしたより詳細な検査技術の指導を行う。

短期専門家の派遣時期としては、1989年1月下旬～3月下旬の2か月程度を予定している。

③ カウンターパートへの技術移転

a) カウンターパートの配置

現在、PTTCにおけるIN-house FacultyのカウンターパートとしてMs. Edita B. Gapangada 1名が配置されているほか、Testing & Inspection Division に繊維関係のセミナーに携わる2名の職員が配置されている。この他に外部Faculty としてPTRIから21名のセミナー講師陣の協力を得ているが、彼らに対しては、専門家の技術移転の対象ともなっているので、すべてカウンターパートとして位置付けている。（別添-IIカウンターパート及び協力機関協力者名リスト参照）

b) 技術移転項目

PTTC及びPTRIのカウンターパートに対し行った技術移転項目は次のとおりである。

① PTTCに対し

- ・試験機器の操作方法及びメンテナンス
- ・繊維の基礎知識
- ・衣料品の外観検査
- ・糸及び生地地の物理試験
- ・繊維混用率試験
- ・日本における衣料品の品質表示、安全規制、サイジングシステム等の概要
- ・セミナー実施上必要となる機器及び器具薬品等のアドバイス
- ・ビデオ教材（繊維～生地製造工程）作成、衣料品の検査、生地欠点とその原因）作成
アドバイス

この結果、Ms. Gapangada は、今年度のセミナーにおいて衣料品の外観検査の講師を務めるに至った。

② PTRIに対し

- ・試験機器の操作方法
- ・衣料品の外観検査
- ・メリヤスの組織

- ・コースカリキュラム原案作成アドバイス及びテキスト作成アドバイス
- ・講師内容アドバイス

④ 研修員の受入れ

今年度は、PTRIのMs. Gloria G. Bondadを予定している。日本での研修については関係者と専門家との打合せにより、1989年1月から開催されているJICA特設の「繊維製品検査技術研修」コースに参加させ、その後衣料品の工程品質管理、外観検査技術について重点的な研修を受けさせることとしたい。

⑤ 機材の利用状況

供与機材については、一部機器を除いては、技術移転時及びセミナーの開催時に使用しており、メンテナンス等についても概ね良好である。

ガスクロマトグラフについては、周辺器具及び使用する薬品等が特殊であるため、調達に時間がかかっているが、今年内には一部調達可能であり、来年より本機材を利用した技術移転を開始する予定となっている。また、引張り試験機については、100kgロードセルが不調であり、現在修理中である。

(2) 1989年度年次計画

① '89年度のセミナー計画

フィリピンの'89年度(1月～12月)当該分野のセミナーについては、PTRI講師陣及びPTTCのカンターパートと共にカリキュラムの検討及び作成、また、そのスケジュール調整を行った結果、セミナーは延べ13回、280名程度の参加者を予定している。セミナーの組立ては、'88年と同様に政府職員用セミナーがベースで、これを民間用に5つのコースに分割している。また、民間用セミナーは、各コースを2～3回ずつ繰返し実施することとしている。

セミナー内容において、'88年に比べ改善されている主な点は、①衣料品の試験・検査に重点を置き、②初級コース、上級コースを廃止して、関連項目別に再編成している。

表-2

セミナー	期 間	コース名 (テーマ)	研修生 (対象)
I	'88. 1. 9 ~ 1. 13	繊維~生地、衣料品のための材料選択	各回とも 30名程度 (民間)
	5. 8 ~ 5. 12		
	9. 11 ~ 9. 15		
II	2. 6 ~ 2. 8	衣料品品質管理のための試験・検査	各回とも 30名程度 (民間)
	5. 30 ~ 6. 1		
	10. 11 ~ 10. 13		
III	2. 20 ~ 2. 24	生地と衣料品の物理試験及びその評価	各回とも 15名程度 (民間)
	6. 26 ~ 6. 30		
IV	3. 13 ~ 3. 17	衣料品の化学試験及びその評価	各回とも 15名程度 (民間)
	7. 17 ~ 7. 21		
V	4. 3 ~ 4. 7	生地と衣料品の検査	各回とも 15名程度 (民間)
	8. 14 ~ 8. 18		
#	11. 2 ~ 12. 5	検査官のための生地、衣料品の試験検査 研修	15名程度 (政府職員)

② 専門家派遣

'89年度は、分析機器 (IR、UV、GC) を使用した加工剤の定性、定量方法について技術移転すべく準備を進めている関係上、「機器分析による樹脂加工剤等の分析技術」に関する専門家派遣の要請がある。

③ カンウターパートへの技術移転

P T T Cのカンウターパートに対しては、1989年中に、より広範な試験・検査技術項目を含め、一通りの試験・検査技術移転を予定しているが、自立の段階に至ると思われない。従って、専門家は、より実践的な面を重視し、受講者等からの試験依頼が自ら処理できるよう指導していくほか、「機器分析による樹脂加工剤等の分析技術」について、技術移転を行う予定である。

P T R Iに対しては、特に、分析技術について重点的に技術移転する予定である。

④ 研修員の受入れ

当該分野の '89年度研修員の受入れに関しては、現在具体的な人選はされていないが分野別個別協議の席上、P T R Iの協力責任者である Technical Services Division の課長、Ms. Caridad Cuchonからは是非1名の枠を頂きたい旨の要望があった。これについては、まず、フィリピン側、特にP T T CとP T R Iで十分調整の上、正式に要請するよう回答した。

なお、専門家からは、当該分野から研修員を派遣できるならば、化学分析技術に関する研修をメインにするようとの提案があった。

⑤ '89年度供与機材

'89年度供与機材として、専門家から次の機材の要請があった。

No.	優先度	機材名	数量	用途
1	A	熱風乾燥機	1	繊維混用率測定に必要不可欠
2	A	モンサント型防しわ性試験機	1	PTRIでの依頼試験実績も多く今後のセミナーでの実習項目として組み込む予定であるため
3	A	カスタム型摩耗試験機	1	

また、個別協議の席上、PTTCのカウンターパートである Ms. Gapangadaより数種の機材について要望が出されたが、これらについては、あらかじめPTTC及び専門家等と十分協議した上、提出するよう回答した。

(3) 実施上の問題点

本分野については、PTRIという協力機関の全面的な支援によりセミナーの運営も順調に進められている。しかし、専門家より実施上の問題点として、以下の2点について指適があった。

① PTTC内のカウンターパート数不足

1989年度は、セミナーの質・量ともは一層の充実を目指している。しかし、本分野におけるセミナーの開催のための事務処理（案内状の発送、テキスト作り、セミナーに必要な予算要求資料作り、セミナー中の世話役等々）を行う試験・検査課（TID）の職員数は、課長を含め7名で、家具、食品のセミナーも担当していることから、セミナー開催数の増加による影響が懸念される。

また、PTTC内のカウンターパートについても、未だ Ms. Gapangada 1名のみであり、今後幅広い技術移転を実施していく上で、PTTCの職員の増員は不可欠である。

② 機材及び消耗品の調達の問題

比国側の予算システム及び現地での調達が難しい機材及び消耗品がかなりあるため、使用する1年ぐらい前から調達の準備をしなければならないものがある。また、現地では、調達が絶望的なものもある。

プロジェクト技協による供与機材は年度計画で要求するのが原則であるが、比国側の要請書の提出がかなり遅いため購送手続も年度末となり、実際の技術移転等の計画の延期を余儀なくされる場合があるので、本件の改善が必要である。

1988年 繊維セミナーの概要

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名 : 1. 糸、織物、製造工程の基礎知識

開催日 : 1988. 4. 19. ~ 4. 22. (4日間)

受講者数 : 21名 (対象は製造メーカー)

メインテーマ : (ねらい) 糸や織物等繊維の製造工程に関する基礎知識の習得

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
4/19(火) am	繊維の分類	講義	Vilma Autea	PTRI	主に天然繊維, 歴史及び性質	内容について問題なし
pm	糸	講義	Cora Llorico	"	種々の糸の説明, 平糸, 多糸, 77ツカーン, 織度等	ただし, 化学繊維に関しては触れられていない。
4/20(水) am	繊維の製造工程	講義	Andres Ramires	PTRI	綿糸の製造工程, 開綿～練蔎まで	内容については問題なし。
pm	糸の製造工程	講義	Alfredo Alcantara Lita Pedrugao	"	綿糸の製造工程 粗紡～精紡	ただし他の糸(毛等)には触れていない。
4/21(木) am	撚糸工程	講義	Lita Pedrugao	PTRI	合糸	特に問題なし
pm	糸の要求性能	講義	Cora Llorico	"	JIS, Ph. St. 等の紹介	
4/22(金) am	工場視察	見学	Andres Ramires	PTRI	PTRI/バロトプラント	アレンジに問題有り
pm	"		Alfredo Alcantara	"	UNISOL TEXTILE MILLS (綿紡)	(アポイントメント、車)
/ () am						
pm						

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名：Ⅱ. 織物の基礎知識及び使用法

開催日：1988. 5. 2. ～ 5. 5. (4日間)

受講者数：21名

メインテーマ：(ねらい) 織物の製造, 加工工程に関する基礎知識の習得

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
5/02(月) am	織物の製造工程	講義	Andres Ramires	PTRI	織物の製造準備工程 三原組織～変化組織	特に問題なし、ただし製造に関してやや技術的に なり過ぎた。
	織物の組織	"	"			
5/03(火) am	加工準備工程	講義	Coridad M. Cuchon	PTRI	精練、漂白、毛焼工程 各種染料の染色方法 各種加工の特徴	染色方法については技術 的過ぎる。
	染色加工工程	"	"			
5/04(水) am	織物、編物の分類 織物の性能	講義	Vima Autea	PTRI	各織物、編物の特性及び その使用適正	特に問題なし。
		pm	"			
5/05(木) am	工場視察	見学	Brigida Obingar	PTRI	PTRIパイロット プラント	予定されていた工場見学 火災により中止
	"	"	"			
/ () am						

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名：Ⅲ.糸及び織物の基礎試験

開催日：1988. 7. 12. ～ 7. 15. (4日間)

1988. 9. 6～9.9 (4日間)

受講者 7名

受講者数：22名

(1回目のセミナーに参加出来なかった人を対象とした)

メンテナーマ：(ねらい) 糸、織物及び編物の物理試験に関する技術の取得

内容等については同じ

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
7/12(火) am	糸の物理試験	実習	Loremina Tiberio	PTRI	織度、番手、撚り数	試験の原理、方法を効果的に教えていたが、人数が多い。
pm	"	"	"	"	構造、引張り強さ	
7/18(火) am	織物の物理試験	実習	Carmela Babor	"	織物、編み物の組織	"
pm	"	"	Mirasol Pico	"	質量、密度、織度番手	"
7/14(水) am	織物の物理試験	実習	Carmela Babor	"	引張り強さ及び伸び率	"
pm	"	"	"	"	破裂強さ、引く強さ	"
7/15(木) am	織物の物理試験	実習	Francisco Arguelles	"	収縮率	"
pm	品質管理	講義	Gloria Bondad Gloria Bondad	"	品質管理(管理図)	"
/ () am						
pm						

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名 : IV. 生地を試験と衣料品の品質検査

開催日 : 1988. 7. 25. ~ 7. 29. (5日間)

受講者数 : 14名

メインテーマ : (ねらい) 生地を試験(染色堅ろう度、混用率)及び生地と衣料品の検査技術の習得

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
7/25(月) am pm	染色堅ろう度 "	実習 "	Emerenciana Cornista "	PTRI	摩擦、洗たく、汗 染色堅ろう度	試験の原理、方法等を効 率的に教えており、特に 問題なし
7/26(火) am pm	混用率 "	実習 "	Daisy Lopez "	"	繊維の鑑別 混用率試験	"
7/27(水) am pm	混用率 "	" "	" "	" "	" "	" "
7/28(木) am pm	生地検査 "	" "	Alfredo Alcantara Brigida Obinguar Jorita Hayin	"	生地検査の重要性及び方法 生地の欠点	"
7/29(金) am pm	衣料品の検査 "	" "	Ybette Gapangaba "	P T T C	衣料品の検査の重要性、 方法	内容について問題ないが、 時間配分に問題有り。

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名 : V. 生地の上級物理試験及び性能要件

開催日 : 1988. 8. 16. ~ 8. 18. (3日間)

受講者数 : 15名

メインテーマ : (ねらい) 上級物理試験の習得と、海外の生地基準の認識

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
8/16(火) am pm	生地の物理試験 "	実 習 "	Gloria Bondad Alfredo Alcantara	PTRI	プリンク試験方法 燃焼性試験方法	他の試験方法、原理等含 めてあり、特に問題なし。
8/17(水) am pm	染色堅ろう度試験 "	実 習 "	Alfredo Alcantara Francisco Arguelles Lillian Abillera	"	耐光堅ろう度 ドライクリーニング	"
8/18(木) am pm	しみ落とし方法 生地の要求性能	実 習 講 義	Carol Tayag Elijiah Doria	"	しみ落とし溶剤と、しみの落 とし方。 各国の生地の品質基準の 紹介	しみ落とし技術及び講義方 法に特に問題なし。 わざわざ講義をしなくとも テキストに含まれれば十 分と考える。
/ () am pm						
/ () am pm						

1988年度 民間企業対象研修コース

コース名：VI. 織物の品質検査

開催日：1988. 9. 19. ～ 9. 23. (5日間)

受講者数：16名

メンター名：(ねらい) 化学分析法と、生地検査の習得

月/日(曜)	項目	形態	講師名	所属	講義又は実習概要	評価及び所見
9/19(月) am pm	化学分析 "	実習 "	Mila Ilagan "	PTRI	ホルムアルデヒド定量法を PTRI試験法に基づいて実習	特に問題なし。
9/20(火) am pm	化学分析 染色性	実習 "	Emrencia Cornisto "	"	はっ水性試験の実習 加工剤定量法の説明 実際に染色を行い、染色性 の違いを確認する。	加工剤定量は、実習行わ ず、やはり講義のみでは 不十分
9/21(水) am pm	化学分析 "	"	Mila Ilagan "	"	バリウム活性度の試験実習	特に問題なし。
9/22(木) am pm	生地検査 "	"	Angres Ramirez "	"	コースIVの続き	1つのコース内で連続し て実施するのが望ましい。
9/23(金) am pm						

1988年度 政府職員対象研修コース

コース名： 繊維・衣料品の品質試験検査

開催日： 1988. 5. 24. ～ 6. 20. (20日間)

受講者数： 10 名

受講者名及所属： Lourdes V. Nevia DTL BPS
 Purita R. Bunoy DTI 第III地区事務所
 Jose Torreblanca DTI 第VI地区事務所
 Manuel L. Parayno CTEB
 Llevelyn S. Ricafranca DTI 本省
 Luzviminda A. Manguiat DTI 第IV地区事務所
 Salvabor C. Prieto CTEB
 Ofelia M. Laconsay DTI 第I地区事務
 Nemia F. Faicol DTI 第VI地区事務所
 Ramon M. Dypiangco CTEB

コースの概要： 民間用セミナーと同じ内容、ただ単に連続で実施したのみ。

講義又は実習項目 別紙1参照

評価及び所見

- ・ 講師の技術レベル、講義の内容等に特に問題ない。
- ・ 受講者が研修の後、1人で試験検査が実施出来るかと問われると、ほとんど無理と考える。

政府職員対象研修コース

INTENSIVE TRAINING COURSE ON GARMENT AND
TEXTILE TESTING AND INSPECTION FOR
GOVERNMENT INSPECTORS スケジュール.

	課 目	講 師
5月24日	繊維の基礎知識 (繊維)	FLORENCIA V. PAGSISIHAN
	” (糸)	CORA P. LLORICO
	開綿、梳綿工程	ANDRES V. RAMIREZ
	精梳、練篠工程	”
	精紡、合糸工程	ALFREDO T. ALCANTARA
	糸の基準	CORA P. LLORICO
	製織工程	ANDRES RAMIREZ
25日	繊維の組織	VILMA I. AUTEA
	加工工程	CARIDAD M. CUCHON
27日	糸の物理試験 (撚数、引張強力)	ALFREDO T. ALCANTARA
		GLORIA G. BONDAD
30日	織物の組織、重量、密度	CARMELA U. BABOR
31日	ピリング試験	ALFREDO T. ALCANTARA
	品質管理	GLORIA G. BONDAD
6月1日	織物の引張強力	CARMELA U. BABOR
2日	” 収織率	FRANCISCO V. ARGUELLE
	耐光堅ろう度	GLORIA G. BONDAD
3日	プラント見学 (PTRI)	”
	ドライクリーニング堅ろう度	LILIAN ABILLERA
6日	摩擦及び洗たく堅ろう度	EMERENCIA A. CORNISTA
7日	} 混用率試験方法	DAISY C. LOPEZ
8日		

6月9日	遊離ホルムアルデヒド定量試験	実 習	MILA ILAGAN
10日	バリウム活性度試験		"
13日	加工剤定量試験		EMERENCIA A. CORNISTA
	しみ落とし方法		CAROL TAYAG
14日	燃焼性試験		ALFREDO T. ALCANTARA
14日	織物、編物の欠点紹介	講 義	SEVERINO V. LIM
15日	"		"
	欠点の生成原因		CARIDAD M. CUCHON
16日	"		"
	織物の外観検査実習	実 習	ALFREDO T. ALCANTARA
17日	工場見学 (縫製工場)	見 学	"
	生地基準について	講 義	GLORIA G. BONDAD
20日	衣料品の外観検査	実 習	Dr. ANGELITA DIZON

注) 講師のDr. ANGELITA DIZONは、フィリピン大学の衣料工学科教授。他の講師はいずれも P T R I (PHILIPPINE TEXTILE RESEARCH INSTITUTE) の職員である。

カウンターパート及び協力機関協力者名リスト (繊維)

・PTTCのC/P=Faculty Pool

氏名 (性別)	年齢	所属部署	役職	専 門	その他
DITA B. GAPANGADA (女)	31	Faculty Pool	シニア Faculty	家政学 (衣料)	77年から パターンメイキングの 技術指導

・PTRIからの協力者 (講師)

氏名 (性別)	年齢	所属部署	役職	専 門	その他
ARIDAD M. CUCHON (女)	44	技術サービス課	課長	化学	1981日本 品質管理 1985ドイツ 貿易 1986日本 織物織器
LFREDO T. ALCANTARA (男)	48	"	研究員	繊維	日本に3か月繊維高 分子研究所にて研修
GLORIA G. BONDAD (女)	41	"	研究員	化学	
ORENICIA V. PAGSISIHAN (女)	38	"	研究員	家政	
ORA P. LLORICO (女)	33	"	研究員	化学	
NDRES V. RAMIREZ (男)	51	"	研究員	電気	1977 日本 機械
ILMA I. AUTEA (女)	35	"	研究員	家政	
CARMELA U. BABOR (女)	31	"	研究員	化学	
ILIAN ABILLERA (女)	31	"	研究員	化学	
MERENCIA A. CORNISTA (女)	39	"	研究員	化学	1984 スイス 化学
AISY G. LOREZ (女)	37	"	研究員	化学	1987 日本 機械
ILA ILAGAN (女)	36	"	研究員	化学	
CAROL TAYAG (女)	28	"	研究員	化学	1987 日本 コンピューター
SEVERINO V. LIM (男)	38	"	研究員	衣料工学	
LITA PEDRUGAO (女)	47	"	研究員	繊維工学	
BRIGIDA OBINGUAR (女)	38	"	研究員	化学	1984 ドイツ 染色 1979 日本 機織
OVEMINDA TIBERIO (女)	48	"	研究員	化学	
IRASOL PICO (女)	30	"	研究員	化学	
FRANCISCO ARGUELLES (男)	37	"	研究員	化学	1985 ホーランド 紡織
JOVITA HAYIN (女)	47	"	研究員	紡織	1976 日本 機械
ELIJAH DORIA (女)	28	"	研究員	化学	

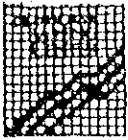
・その他の協力者（講師）

氏名（性別）	年齢	所属部署	役職	専門	その他
NGELITA DIZON (女)	? 60	フィリピン大学	教授	衣料工学	

・その他繊維関係のセミナーにたずさわるPTTC職員。

直接C/Pと呼べるかどうかは不明であるが、技術移転の対象に含めるように、との依頼があり、その必要性も有ると認めるので、ここに記載する。

氏名（性別）	年齢	所属部署	役職	専門	その他
YLINE MANGDSING (女)	28	Testing & Inspection Division	アナリスト	経済	
LINO CRUZ (男)	26	”	オペレーター	経営工学	PTRIからの出向



PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER

INTERNATIONAL TRADE CENTER COMPLEX
ROXAS BLVD. COR. SEN. GIL J. PUYAT AVZ.
1300 PASAY CITY, PHILIPPINES

QUALITY INSPECTION AND TESTING
FOR GARMENT AND TEXTILE

TRAINING PROGRAM FOR 1989

January 9 -13
May 8 - 12
September 11 - 15

FROM FIBERS TO FABRICS AND THE SELECTION OF MATERIALS FOR
GARMENT QUALITY

The course aims to provide essential information on classification, properties, manufacturing processes and selection/end-use of fibers, yarns/sewing threads, and fabrics, and to relate these with the construction and quality of garment.

Additional topics on fabric finishing, dyeing and printing and selection of dyes will be included; likewise, a special discussion on lace, net, macrame and crochet.

TRAINING FEE: P600.00 per participant

February 6-9^Y
May 30 - June 1
October 11 - 13

QUALITY CONTROL TOOLS FOR GARMENT INSPECTION AND TESTING

The course aims to teach the participants statistical quality control techniques and how to apply these in establishing an inspection system and quality control program in the garment factory.

The training is also applicable for textile companies, as it will include inspection and quality control applications in yarn and fabric manufacturing.

TRAINING FEE: P600.00 per participant

February 20 - 24
June 26 - 30

PHYSICAL TESTING AND EVALUATION OF FABRICS AND GARMENTS
(Laboratory Course)

The course aims to teach skills on physical test methods for yarn/sewing thread, fabric and garments, as well as to establish participants' proficiency in the interpretation of results, and enable them to relate these with the quality of raw materials and finished garments.

Test methods and exercises will cover: sewing thread/yarn quality and suitability for use; fabric construction; crease and wrinkle recovery; stretchability, resistance to wear and tear, strength and durability; seam slippage and seam strength; shrinkage; resistance to pilling; and flammability.

DEPARTMENT OF TRADE & INDUSTRY

Participants can bring their samples for testing, and consult, with Japanese expert, and Faculty from Philippine Textile Research Institute (PTRI).

TRAINING FEE: P900.00 per participant

March 13 - 17

July 17 - 21

CHEMICAL TESTING AND EVALUATION OF FABRICS AND GARMENTS (Laboratory Course)

As in above module, the course aims to teach skills on chemical test methods for yarn/sewing thread, fabric and garments, as well as to establish participants' proficiency in the interpretation of results, and enable them to relate these with the quality of raw materials and finished garments.

Test methods and exercises will cover: fiber composition, fiber separation; resin content determination, formaldehyde content, colorfastness to washing, perspiration, rubbing and light; dry cleaning; chlorine bleaching.

Participants can bring their samples for testing, and consult with Japanese expert, and Faculty from Philippine Textile Research Institute (PTRI).

TRAINING FEE: P1,000.00 per participant

April 3 - 7

August 14 - 18

FABRIC AND GARMENT INSPECTION

The course aims to teach participants how to identify and classify fabric defects using the standard point system, and how to prevent them. It will also provide skills on how to perform inspection and establish checkpoints from raw material procurement, through production and export marketing of garments as well as provide familiarization on international textile/garment care labelling standards.

Participants can bring their samples for testing; and consult with Japanese expert, and Faculty from Philippine Textile Research Institute (PTRI).

TRAINING FEE: P1,000.00 per participant

RESERVATIONS

Advanced registration/reservations in each course. Acceptance will be on first-come, first-served basis, upon payment of training fee, in cash or cheque/postal money order/telegraphic transfer payable to the Philippine Trade Training Center.

FOR INQUIRIES; contact:

PHILIPPINE TRADE TRAINING CENTER
Testing and Inspection Division
Sen. Gil J. Puyat Ave. cor. Roxas Blvd.
Pasay City
Telephone Nos. 8341344 to 49 loc. 305 - 307

別添-IV 1989年 繊維セミナー/コース概要

QUALITY INSPECTION AND TESTING
GARMENT AND TEXTILES

TRAINING DESIGN

COURSE I

COURSE TITLE: From Fibers to Fabrics and The Selection of Materials for Garment Quality

OBJECTIVES : To acquire essential information on the classification, properties, selection/end-use, manufacturing processes of fabrics and their standard performance requirements.

To be able to relate fabric properties with their end-use and to the quality of finished garment.

TARGET PARTICIPANTS: Purchasing, marketing, quality assurance personnel, designers, as well as, existing/potential garment and textile manufacturers, sub-contractors, exporters and traders.

VENUE: Philippine Trade Training Center, (Seminar Room), International Trade Center, Roxas Blvd. cor. Gil Puyat Ave., Pasay, Metro Manila

DURATION: 5 days

COURSE CONTENT:

A. FIBERS, THE RAW MATERIAL OF YARN AND FABRIC 0.5 day

1. Overview/Origin
2. Structure
3. Classification
4. Properties

B. YARNS

1 Manufacturing Processes 0.5 day

- | | |
|------------|---------------------|
| o Blending | o Drawing |
| o Opening | o Roving |
| o Picking | o Spinning |
| o Carding | o Winding |
| o Combing | o Doubling/Twisting |

2. Classification, Properties, and Usage 0.5 day

- o Yarns
- o Special Types of Yarns: Sewing Threads, Embroidery, Crochet

3. Standard Performance Requirements for Yarns and Sewing Thread/Specifications of Spun Yarns

C. FABRICS

1. Woven Fabrics

0.5 day

2. Manufacturing Processes: Weaving

- o Warping
- o Slashing
- o Warp Sizing
- o Reaching-In
- o Pirn Winding
- o Loom Winding

3. Classification, Properties and Usage

0.5 day

a. Plain Woven Fabric

- o Open woven, Low-thread Count Fabric
- o Sheet, Soft, Crisped, Finished Fabric

b. Plain Woven Fabric (Variations)

- o Basket Weave
- o Modified Basket Woven

c. Ribbed Fabric

- o Small Ribbed
- o Large Ribbed

d. Twill Fabric

- o Even-sided
- o Warp-faced
- o Filling-faced
- o Herringbone Twill

e. Satin Fabric

f. Variations of Basic Woven Fabric:
Fancy Weave

- o Jacquard
- o Dobby
- o Leno
- o Woven Pile Fabric

4. Knitted Fabrics

1.0 day

5. Manufacturing Processes: Knitting

- o Knitting Structure
- o Knitting Yarn Preparation
- o Stitch Formation
- o Knitting Needle

6. Classification, Properties and Usage

- o Weft/Filling Knit
- o Warp Knit

7. Non-Woven Fabrics

- o Common Types of Non-woven Fabrics

8. Net, Macrame, Lace and Crochet

- o Common Types

D. FINISHES

1.0 day

1. Pre-Treatment

- o Scouring
- o Bleaching
- o Optical Brightening

2. Dyeing/Printing

- o Classes of Dyes
- o Dyeing Methods/Printing Methods
- o Dyeing/Printing Fiber Blends

3. Finishes

- o Types
- o Special Finishes

E. STANDARD PERFORMANCE REQUIREMENTS FOR FABRICS

0.5 day

METHODOLOGY : Lecture-Discussion, Audio-Visual Presentation, and Exercises/Workshop

COURSE II

COURSE TITLE : Quality Control Tools for Garment Inspection and Testing

OBJECTIVES: To identify the different methods of quality control and their applications to yarn, fabric and garment.

To demonstrate common quality control methods used in testing and inspection of garments.

To determine applicable techniques of quality control to their respective companies

TARGET PARTICIPANTS: Preferably Graduates of Course I, Purchasing, Production Line Supervisors and Quality Assurance Personnel of Garment Companies.

VENUE: Philippine Trade Training Center (Seminar Room), International Trade Center, Roxas Blvd. corner Gil Puyat Avenue, Pasay, Metro Manila

DURATION: 3 days

COURSE CONTENT :

- A. AN OVERVIEW OF QUALITY CONTROL IN GARMENTS 0.5 day.
1. History of Quality Control
 2. What is Quality Control
 3. Quality
 - a. Types of Quality
 - b. Grade and Quality of Products
 - c. Characteristics of a Good Commodity (Quality).
 - d. Levels of Quality Used in Various Department
 4. Control
 5. Purpose of Quality/Effects of Quality Control
- B. QUALITY AND INSPECTION
- C. QUALITY CONTROL CIRCLE
- D. INTRODUCTION TO STATISTICAL TOOLS OF QUALITY CONTROL
- E. QUALITY CONTROL TOOLS AND THEIR APPLICATIONS TO GARMENT GARMENT TESTING AND INSPECTION 1.0 day

1.0 Sampling Techniques

a. Textiles

- o Yarns
- o Fabrics

b. Garments

- o No Inspection
- o One Hundred Percent Inspection
- o Spot Checking
- o Arbitrary Sampling
- o Sampling Inspection or Acceptance Sampling
- o Sampling Plans

a. Single Sampling Plans

b. Double Sampling Plans

2. Collection of Data 1.0 day

- o Frequency Distribution

3. Presentation and Evaluation of Data for Comparative Study and Judgment

Tools :

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| o Histogram | o Control Chart |
| o Pareto Diagram | o Scatter Diagram |
| o Cause and Effect Diagram | o Check Sheet |
| o Circular Graph | |

4. Measures of Variability/Dispersion 0.5 day

- | | |
|------------------|----------------------------|
| o Range | o Standard Deviation |
| o Mean Deviation | o Coefficient of Variation |
| o Variance | |

5. Determining Number of Test

- o Standard Procedure for Determining Number of Test

6. Significant Difference Between Two Samples/Inspections

- o Standard Error of Estimates
- o T-test
- o Z-test

7. How to Start Quality Control Program

METHODOLOGY: Lecture-Discussion; Exercises and Demonstration

COURSE III

COURSE TITLE: Physical Testing and Evaluation of Fabrics and Garments (Laboratory Course)

OBJECTIVES: To appreciate the importance of physical testing to the quality of raw materials and finished garment.

To be able to evaluate results of respective physical test method and relate their importance to the performance of raw material, as well as the finished garment.

TARGET PARTICIPANTS: Graduates of Course 1 & 2, Purchasing, Marketing, Quality Assurance Personnel, and those with relevant educational background or work experience.

VENUE: Philippine Trade Training Center, (Garment Laboratory), International Trade Center, Roxas Blvd. corner Gil Puyat Ave., Pasay, Metro Manila

DURATION: 5 days

COURSE CONTENT:

A. SEWING THREAD TESTING 1.0 day

1. Count
2. Twist
3. Strength and Elongation

B. FABRIC TESTING

1. Construction
 - o Determination of Types of Weave 0.5 day
 - o Determination of Types of Knit 0.5 day
 - o Weight 0.5 day
 - o Fabric Count
 - o Yarn Count
2. Appearance 0.5 day
 - o Crease Recovery
 - o Wrinkle Recovery
3. Strength 1.0 day
 - o Grab
 - o Tearing
 - o Bursting

C. GARMENT TESTING

1. Seam Slippage/Seam Strength
2. Shrinkage/Dimensional Stability 1.0 day
3. Pilling
4. Flammability

METHODOLOGY: Lecture-Discussion, Laboratory Exercises, and Demonstration

COURSE IV

COURSE TITLE: Chemical Testing and Evaluation of Fabrics and Garments (Laboratory Course)

OBJECTIVE: To appreciate the importance of chemical testing requirements to the quality of raw materials used and finished garments.

To perform the chemical testing methods according to the standard laboratory procedures and be able to interpret results correctly.

TARGET PARTICIPANTS: Purchasing, Quality Assurance Personnel and those with relevant educational background and work experience.

VENUE: Philippine Trade Training Center, (Garment Laboratory), International Trade Center, Roxas Blvd. corner Gil Puyat Avenue, Pasay, Metro Manila

DURATION: 5 days

COURSE CONTENT :

- | | |
|---|----------|
| A. FIBER COMPOSITION | 1.75 day |
| o Fiber Identification | |
| o Fiber Separation | |
| B. RESIN CONTENT DETERMINATION | 0.25 day |
| C. FORMALDEHYDE CONTENT DETERMINATION | 1.0 day |
| D. COLORFASTNESS TEST | 1.0 day |
| o Washing | |
| o Perspiration | |
| o Rubbing (Crock meter and Abrasion Tester) | |
| o Light (Artificial/Natural) | |
| o Dry Cleaning | 1.0 day |
| o Chlorine Bleaching | |
| E. STAIN REMOVAL | |

METHODOLOGY: Lecture-Discussion, Exercises and Demonstration

COURSE V

COURSE TITLE: Fabric and Garment Inspection

OBJECTIVE: To be able to identify common fabric defects and determine their causes and prevention.

To grade the fabric defects using the standard point system.

To appreciate the importance of in-coming and in-process inspection in garment manufacturing.

To perform final inspection of garment following standard procedure/basic inspection motions.

TARGET PARTICIPANT: Purchasing Personnel, Quality Inspectors, Export Merchandiser/ Marketing Personnel, and Designers with Relevant Experience.

VENUE: Philippine Trade Training Center, (Garment Laboratory), International Trade Center, Roxas Blvd. corner Gil J. Puyat Avenue, Pasay, Metro Manila

DURATION: 4 days (with Course II- Option 2 = 5 days)

COURSE CONTENT:

A. FABRIC INSPECTION

1. Overview of Spinning, Weaving, Knitting and Finishing Processes 0.25 day
2. Fabric Defects 0.75 day
 - o Identification of Defects
 - o Causes and Prevention
3. Fabric Inspection Methods 0.75 day
 - o Significance
 - o Usage
4. The Role and Responsibility of Fabric Inspector 0.25 day

B. GARMENT INSPECTION

- o In-coming Inspection 0.5 day
- o In-process Inspection
- o Final Inspection 1.0 day

C. CARE LABELLING OF GARMENT

0.5 day

- o Philippine Code of Labelling
- o Japan Care Labelling System
- o American Care Labelling System
- o European Care Labelling System
- o British Care Labelling System
- o Canadian Care Labelling System

METHODOLOGY: Lecture-Discussion, Exercises, Audio-Visual
Presentation and Demonstration

FOR GOVERNMENT SECTOR

COURSE TITLE: Integrated Garment Testing and Inspection Courses for the Government Sector

COURSE OBJECTIVE: To appreciate the importance of acquiring knowledge and skills in testing and inspection and determine the application to their respective field of work.

To perform testing and inspection methods properly according to the standard laboratory test methods and procedures.

TARGET PARTICIPANTS: Government Personnel Directly Involved In Assisting the Garment Industry Sector

VENUE: Philippine Trade Training Center, International Trade Center, Roxas Blvd. corner Gil Puyat Avenue, Pasay, Metro Manila

DURATION: 22 days

COURSE CONTENT:

I. FROM FIBERS TO FABRICS AND THE SELECTION OF MATERIALS FOR GARMENT QUALITY

A. FIBERS, THE RAW MATERIALS OF YARN AND FABRIC 0.5 day

1. Overview/Origin
2. Structure
3. Classification
4. Properties

B. YARNS

1. Manufacturing Processes 0.5 day

- | | |
|------------|---------------------|
| o Blending | o Drawing |
| o Opening | o Roving |
| o Picking | o Spinning |
| o Carding | o Winding |
| o Combing | o Doubling/Twisting |

2. Classification, Properties and Usage 0.5 day

- o Yarns
- o Special Types of Yarns: Sewing Threads, Embroidery, Crochet

3. Standard Performance Requirements for Yarns and Sewing Thread/Specification of Spun Yarns

C. FABRICS

1. Woven Fabrics 0.5 day
2. Manufacturing Processes: Weaving
 - o Warping
 - o Slashing
 - o Warp Sizing
 - o Reaching-In
 - o Pirn Winding
 - o Loom Weaving
3. Classification, Properties and Usage 0.5 day
 - a. Plain Woven Fabric
 - o Open Woven, Low-thread Count Fabric
 - o Sheet, Soft, Crisped, Finished Fabric
 - b. Plain Woven Fabric (Variations)
 - o Basket Woven
 - o Modified Basket Woven
 - c. Ribbed Fabric
 - o Small Ribbed
 - o Large Ribbed
 - d. Twill Fabric
 - o Even-sided
 - o Warp-faced
 - o Filling-faced
 - o Herringbone Twill
 - e. Satin Fabric
 - f. Variations of Basic Woven Fabric: Fancy Weave,
 - o Jacquard
 - o Dobby
 - o Leno
 - o Woven Pile Fabric
4. Knitted Fabrics 1.0 day
5. Manufacturing Processes: Knitting
 - o Knitting Structure
 - o Knitting Yarn Preparation
 - o Stitch Formation
 - o Knitting Needle
6. Classification, Properties and Usage
 - o Weft/Filling Knit
 - o Warp Knit
7. Non-Woven
 - o Common Types of Non-Woven Fabrics

8. Net, Macrame, Lace and Crochet

- o Common Types

D. FINISHES

1.0 day

1. Pre-Treatment

- o Scouring
- o Bleaching
- o Optical Brightening

2. Dyeing/Printing

- o Classes of Dyes
- o Dyeing Methods/Printing Methods
- o Dyeing/Printing Fiber Blends

3. Finishes

- o Types
- o Special Finishes

E. STANDARD PERFORMANCE REQUIREMENTS FOR FABRICS

0.5 day

II QUALITY CONTROL TOOLS FOR GARMENT INSPECTION AND TESTING

A. AN OVERVIEW OF QUALITY CONTROL IN GARMENTS

0.5 day

1. History of Quality Control

2. What is Quality Control

3. Quality

- o Types of Quality
- o Grade and Quality of Products
- o Characteristics of a Good Commodity (Quality)
- o Levels of Quality Used in Various Department

4. Control

5. Purpose of Quality/Effects of Quality Control

B. QUALITY AND INSPECTION

C. QUALITY CONTROL CIRCLE

D. INTRODUCTION TO STATISTICAL TOOLS OF QUALITY CONTROL

E. QUALITY CONTROL TOOLS AND THEIR APPLICATION TO GARMENT TESTING AND INSPECTION

1.0 day

1. Sampling Techniques

a. Textiles

- o Yarns
- o Fabrics

b. Garments

1. No Inspection
2. One Hundred Percent Inspection
3. Spot Checking
4. Arbitrary Sampling
5. Sampling Inspection or Acceptance Sampling
6. Sampling Plans
 - o Single Sampling Plans
 - o Double Sampling Plans

2. Collection of Data 1.0 day

a. Frequency Distribution

3. Presentation and Evaluation of Data for Comparative Study and Judgment

Tools:

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| o Histogram | o Control Chart |
| o Pareto Diagram | o Scatter Diagram |
| o Cause and Effect Diagram | o Check Sheet |
| o Circular Graph | |

4. Measures of Variability/Dispersion 0.5 day

- | | |
|------------------|----------------------------|
| o Range | o Standard Deviation |
| o Mean Deviation | o Coefficient of Variation |
| o Variance | |

5. Determining Number of Test

a. Standard Procedure for Determining Number of Test

6. Significant Difference Between Two Samples/Inspections

- o Standard Error of Estimates
- o T-test
- o Z-test

7. How to Start a Quality Control Program

III. PHYSICAL TESTING AND EVALUATION OF FABRICS AND GARMENTS
(Laboratory Course)

- A. SEWING THREAD TESTING 1.0 day
1. Count
 2. Twist
 3. Strength and Elongation
- B. FABRIC TESTING
1. Construction
 - o Determination of Types of Weave 0.5 day
 - o Determination of Types of Knit 0.5 day
 - o Weight
 - o Fabric Count
 - o Yarn Count
 2. Appearance 0.5 day
 - o Crease Recovery
 - o Wrinkle Recovery
 3. Strength 1.0 day
 - o Grab
 - o Tearing
 - o Bursting
- C. GARMENT TESTING
1. Seam Slippage/Seam Strength
 2. Shrinkage/Dimensional Stability 1.0 day
 3. Pilling
 4. Flammability
- IV. CHEMICAL TESTING AND EVALUATION OF FABRICS AND GARMENT (Laboratory Course)
- A. FIBER COMPOSITION 1.75 day
- o Fiber Identification
 - o Fiber Separation
- B. RESIN CONTENT DETERMINATION .25 day
- C. FORMALDEHYDE CONTENT DETERMINATION 1.0 day
- D. COLORFASTNESS TEST 1.0 day
- o Washing
 - o Perspiration
 - o Rubbing (Crock meter and Abrasion Tester)

o	Light (Artificial/Natural)	
o	Dry Cleaning	1,0 day
o	Chlorine Bleaching	
E.	STAIN REMOVAL	
V.	FABRIC AND GARMENT INSPECTION	
A.	FABRIC INSPECTION	
1.	Overview of Spinning, Weaving, Knitting and Finishing Processes	0,25 day
2.	Fabric Defects	0,75 day
	o Identification of Defects	
	o Causes and Prevention	
3.	Fabric Inspection Methods	0,75 day
	o Significance	
	o Usage	
4.	The Role and Responsibility of Fabric Inspector	0,25 day
B.	GARMENT INSPECTION	
	o In-coming Inspection	0,5 day
	o In-process Inspection	
	o Final Inspection	1,0 day
C.	CARE LABELLING OF GARMENTS	0,5 day
	o Philippine Code of Labelling	
	o Japan Care Labelling System	
	o American Care Labelling System	
	o European Care Labelling System	
	o British Care Labelling System	
	o Canadian Care Labelling System	

8. 輸出検査（農水産品）

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

当初の計画どおり、「冷凍魚とその他の水産物」及び「果実と野菜加工品（砂糖漬け）」についてのセミナーをそれぞれ2回ずつ実施した。参加者は各回とも25人前後であった。

教材及び資料の準備については、セミナー開講前に、専門家を含めたPTTC側とFDC側とで内容を十分検討し、Dr. Lustre所長（FDC）を中心としてFDC側が作成している。

② 専門家派遣

長期専門家については、1988年1月より派遣されている秋野洋一氏が引き続き本分野を担当している。本年度の短期専門家については、11月末現在の段階ではまだ派遣されていない。

③ カウンターパートへの技術移転

本分野のカウンターパートは、現在6名配置されているが、そのうちFDCから派遣されている4名については、パートタイムのカウンターパートである。

- ・ Luz C. Lizada (PTTC)
- ・ Gertrude Malicdem (")
- ・ Alicia O. Lustre (FDC所長)
- ・ Rosabel A. Roncal (FDC次長)
- ・ Hector C. Maglalang (FDC職員)
- ・ Alberd Cariso (")

長期専門家のカウンターパートへの技術移転については、次のようにして行っている。

- 1) PTTCの2名については、検査における基礎知識がなく、さらにセミナー開催の準備等に追われているため、現段階では検査の基本技術と機材の使用方法を指導している。
- 2) FDCの4名については、かなりの技術レベルにあるので、JAS規格を紹介したり、水産現場の見学による工程管理、あるいは日本の缶詰を利用した外観検査について技術移転している。

④ 研修員の受入れ

今年度の研修員は、FDCの Ms. Carmelita Protacio で、来年3月より約3ヶ月間、東京農林規格検査所で研修することになっている。研修内容は主に、JASの検査方法と魚類の製品検査を予定している。

⑤ 機材の利用状況

現在実施しているセミナーの内容は、基本的な細菌検査や物理試験、感応検査なので、設置されている培養基、分析器、顕微鏡で十分対応しており、利用状況も良好である。

(2) 1989年度活動計画

'89年度セミナーの内容は、今年度「冷凍魚及びその他の水産物」「果実、野菜の砂糖づけ」

を従来の5日間コースに、12日間の実技時間を十分とれるコースを開設する。また、新たに「缶詰」コースを設ける。

(3) 実施上の問題点

現在、検査方法の技術移転は、FDC所属のC/Pに行っているが、PTTCとしては、本センター所属のC/Pについても検査技術を身につけさせたいと思っている。そのためには、彼らにセミナーの準備をさせないなど十分時間的配慮をしてやる必要がある。

9. 商業日本語

(1) 1988年度活動状況

① 研修実績

関谷専門の活動については、本年3月下旬に赴任して以来、コース開催まで主にカリキュラムの作成、教材開発及びコース開講の準備作業を行った。本年度のコース開講としては、4回を予定しており、既に第1回目が6月27日から8月24日まで、第2回目が9月5日から10月7日まで、そして第3回目が10月17日から12月14日までの期間で開催されていた。コース名及び内容については以下のとおり。

イ. 速成商業日本語コース (開催回数2回)

多忙なビジネスマン向けの短期集中コースで、初歩的な日常会話の習得を目的とする。聞くこと、話すことに重点を置き、書くことの指導はローマ字にとどめる。

ロ. 商業日本語コース レベルI (開催回数1回)

ビジネスマンを対象として実用日本語コースで、仕事上、日本人と日本語でコミュニケーションできる語学力の習得を目的とする。その中で、レベルIは約50時間の学習者を対象にし、特に日常生活に必要な基本的な言葉や表現を学習する。「話せる」ことが第一目的であり、簡単な表現でも的確にコミュニケーションできるよう練習する。

ハ. PTTC職員向け日本語レッスン (開催回数1回)

通常の日本語コースを受講できないPTTCの職員を対象に、昼休みを利用して簡単な挨拶や自己紹介の方法等を学習する。

コースの運営については、関谷専門家が第1回目を全コース担当し、2回目と3回目については、カウンターパートと分担して実施した。なお、4回目については、カウンターパートが全て担当する予定になっている。

② 専門家派遣

本分野の専門家については、ようやく本年3月末に関谷ナナ専門家が派遣され、カウンターパートへの技術移転に従事している。

③ カウンターパートへの技術移転

本分野のカウンターパートは現在、Miss Flordelia BALITE 1名しか配置されていないが、